

新居浜市 都市イメージに関する調査
報告書

令和3（2021年）3月
愛媛県 新居浜市

目次

I	調査概要	1
1	調査の目的	1
2	調査設計	1
3	報告書の見方について	1
II	回答者の属性	2
1	性別	2
2	年齢	2
3	未既婚	3
4	家族の状況	4
5	職業	6
6	居住歴	7
7	市外への転出理由	8
8	市内への転入理由	9
9	居住年数	10
10	転出後のUターンの予定	11
III	調査結果	12
1	新居浜市の評価	12
1	新居浜市の好意度	12
2	新居浜市の住みごころ	13
3	新居浜市に対する誇り・自慢	14
4	新居浜市への居住推奨度	15
5	新居浜市の印象	17
6	新居浜市の魅力を感じない点	20
7	新居浜市への居住継続意向	22
8	新居浜市に求める街の将来像	24
2	子育て支援に関するアンケート	26
1	子育て支援施設や預かり保育の重視する点	26
2	保育所に関する少子化対策	28
3	子育てしやすい社会に向けた支援策	29
4	仕事と子育ての両立の障害	31
5	両立に向けた方策	31
6	現在の子どもの数	32
7	理想の子どもの数	32
8	理想より子供が少ない理由	33
9	子どもがいない理由	33
10	妊娠・出産時に求める支援	34
11	独身でいる理由	35
12	結婚、妊娠、子ども・子育てに温かい社会の実現	36
13	がん検診の受診	37
3	シティブランディング事業について	38
1	シンボルマークの認知状況	38
2	シンボルマークの意味に対する賛同意識	39
3	シティブランド活動の認知状況	40
4	シティブランド活動への賛同意識	41
5	シティブランド活動への参加状況	42
6	シティブランド活動への期待	43

I 調査概要

1. 調査の目的

本調査は、市民における新居浜市の魅力やまちづくり施策に関わる認知度の把握、またシティブランド戦略の取り組みに対する意見等を把握し、今後のシティブランド戦略推進の基礎資料とすることを目的として実施した。

2. 調査設計

(1) 調査対象	本市に居住する15歳以上の市民
(2) 対象者抽出方法	住民基本台帳による無作為抽出
(3) 調査方法	郵送配布・回収及び市ホームページアンケートシステム
(4) 実施機関	令和3年1月18日(月)～令和3年2月21日(日)
(5) 回収結果	配布数 2,000件 有効回収数 930件 有効回収率 46.5%

3. 調査表の見方について

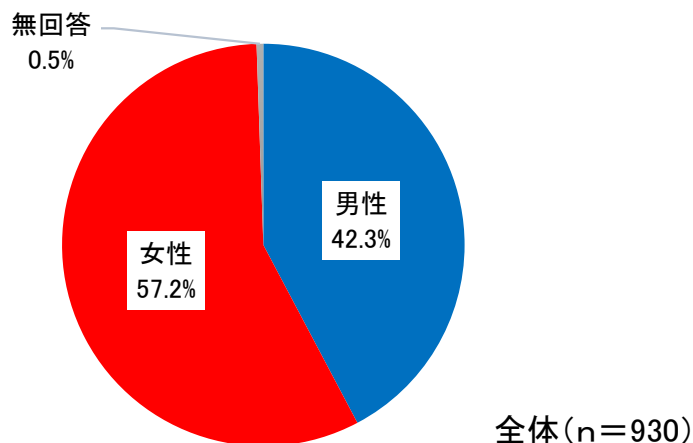
- (1) 基数となるべき実数は、(n=〇〇)と表示している。各比率はすべてを100%として百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出している。そのために、百分率の合計が100%にならないことがある。
- (2) 質問文の中に、複数回答が可能な質問があるが、その場合、回答の合計は回答者数を上回ることがある。
- (3) 図表中における性別や年齢別のクロス集計結果については、該当する属性等の設問に対する無回答者を除いて表記しているため、属性ごとの基数の合計と全体の基数は同じにならない場合がある。
- (4) 図中の選択肢表記は、見やすさを考慮し、場合によっては語句を短縮・簡略化している場合がある。また、0.0%の表記は省略している場合がある。また、複数回答の図表中においては、見やすさを考慮し、回答割合の高い順に並べ替えて表記している場合がある。
- (5) この他、個別に参照事項がある場合は、本報告書の該当箇所に適宜記載した。

II. 回答者の属性

1 性別

問1. あなたの性別をお答えください。(○は1つだけ)

図表 性別(全体)

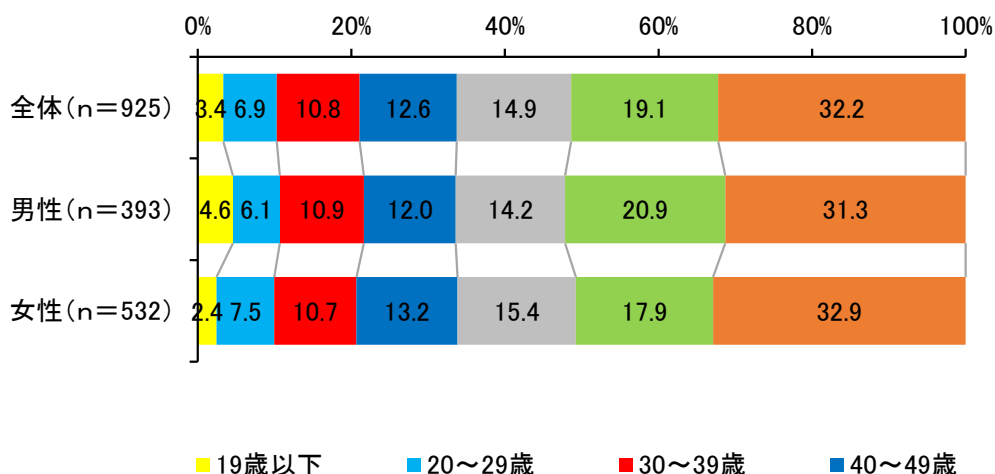


男性42.3%に対し女性57.2%と、女性の回答率が高い。

2 年齢

問2. あなたの年齢をお答えください。(○は1つだけ)

図表 年齢(全体/性別)



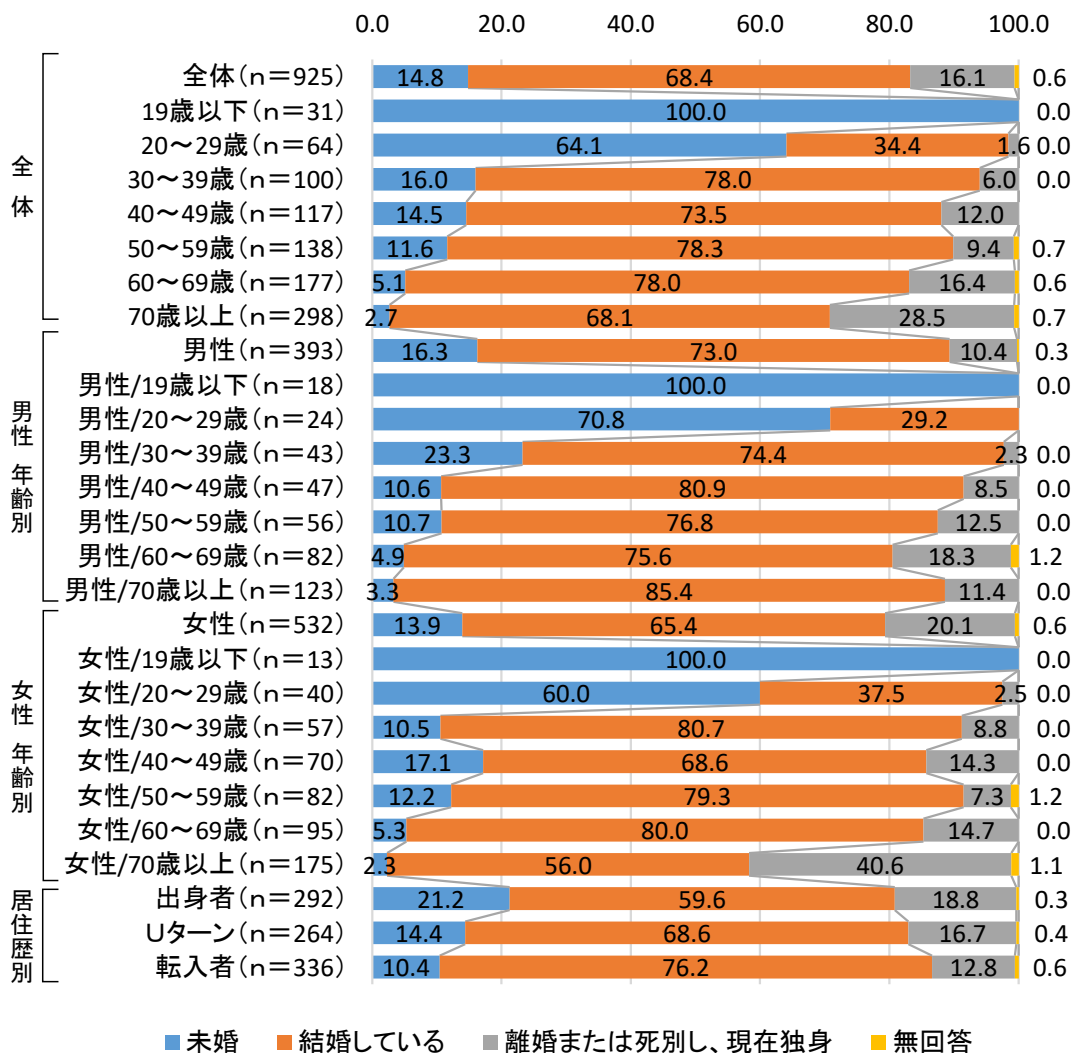
回答者の年齢別構成比をみると、年齢層が高いほど全体に占める割合が高くなっている。特に、60歳以上の割合は男女とも50%を超える。

また、男女で比較すると、20歳から59歳までの占める割合は男性よりも女性の方が高い傾向にある。

3 未既婚

問3. あなたは結婚されていますか？（○は1つだけ）

図表 未既婚(全体／性別／年齢別／居住歴別)



未既婚については、全体では「未婚」14.8%、「結婚している」68.4%、「離婚又は死別」16.1%で、うち男性は「未婚」16.3%、「結婚している」73.0%、「離婚又は死別」10.4%、女性は「未婚」13.9%、「結婚している」65.4%、「離婚又は死別」20.1%。女性よりも男性の未婚率が高い。

また、「離婚又は死別」の割合が男性10.4%に対し女性20.1%と10%近く高いが、これは回答者数の多い70代において、「離婚又は死別」の割合が女性は40.6%と非常に高いため。

「未婚」の占める割合を年齢別にみると、男性20代70.8%、30代23.3%に対し、女性20代60.0%、30代10.5%と、若い世代の男性の「未婚」の割合は女性に比べて10%以上高い。

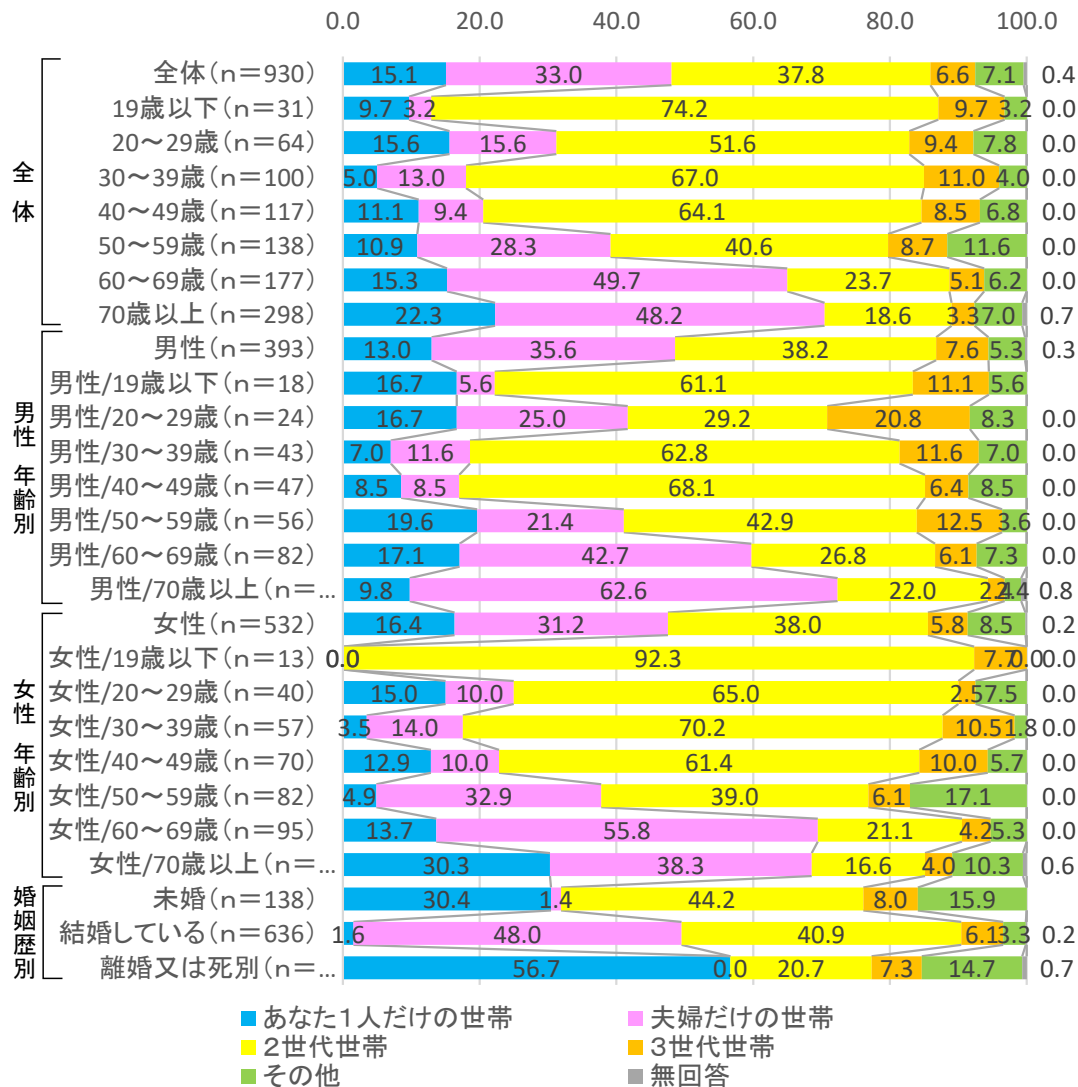
居住歴別にみると、出身者（＝新居浜市内で生まれ、ずっと住み続けている）は「未婚」21.2%、「結婚している」59.6%、Uターン（＝新居浜市内で生まれたが、市外に住んでいたことがあり、戻ってきた）は「未婚」14.4%、「結婚している」68.6%、転入者（＝市外で生まれ、新居浜市に引っ越してきた）は「未婚」10.4%、「結婚している」76.2%となっている。

4 家族の状況

(1) 家族構成

問4. あなたの家族構成（同居している方）は、次のどれにあてはまりますか？
あなたご自身も含めてお答えください。（○は1つだけ）

図表 家族構成(性別／年齢別／未既婚別)



※2世代世帯⇒夫婦（またはそのいずれか）と子ども（成人の子どもも含む）だけの世帯

※3世代世帯⇒夫婦（またはそのいずれか）と子どもとその祖父母（またはそのいずれか）のいる世帯

全体としては、「2世代世帯」が最も多く37.8%、その次に「夫婦だけの世帯」が33.0%、「1人だけの世帯」15.1%となっている。

性別でも、この傾向に大きな違いはない。

年齢別では、20代から40代までは2世代世帯が多く、子どもが進学等で別居を始める50代からは夫婦だけの世帯が増えはじめる。

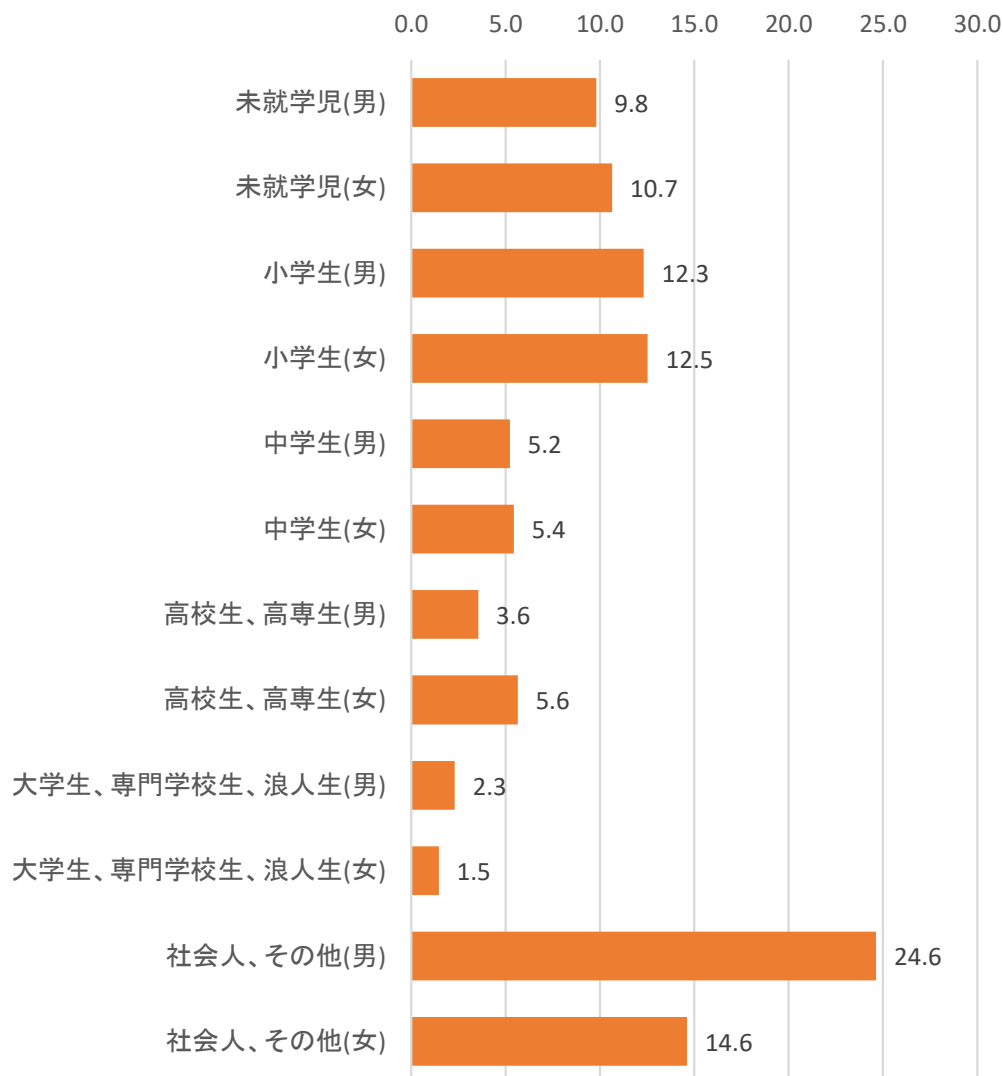
未既婚別では、「未婚」では「2世代世帯」が最も多く44.2%で、結婚前は親と同居している方が多いと思われる。また、「結婚している」では「夫婦だけの世帯」が48.0%、次いで「2世代世帯」が40.9%、この2つで90%近くを占めており、新居浜市が推進する3世代同居はまだまだ進んでいないことが分かる。

また、離婚又は死別後は1人だけの世帯が56.7%を占めている。「3. 未既婚」の調査によると、「離婚又は死別」と回答した方は70歳以上の高齢者に多く、高齢者の独り暮らしが懸念される。

(2) 同居している子ども

問5. 現在同居しているご自分のお子様がいる方に伺います。
お子様は次のどれにあてはまりますか？ 複数のお子様がいらっしゃる場合は、
あてはまるものすべてをお選びください。(〇はいくつでも)

同居している子ども【複数回答】



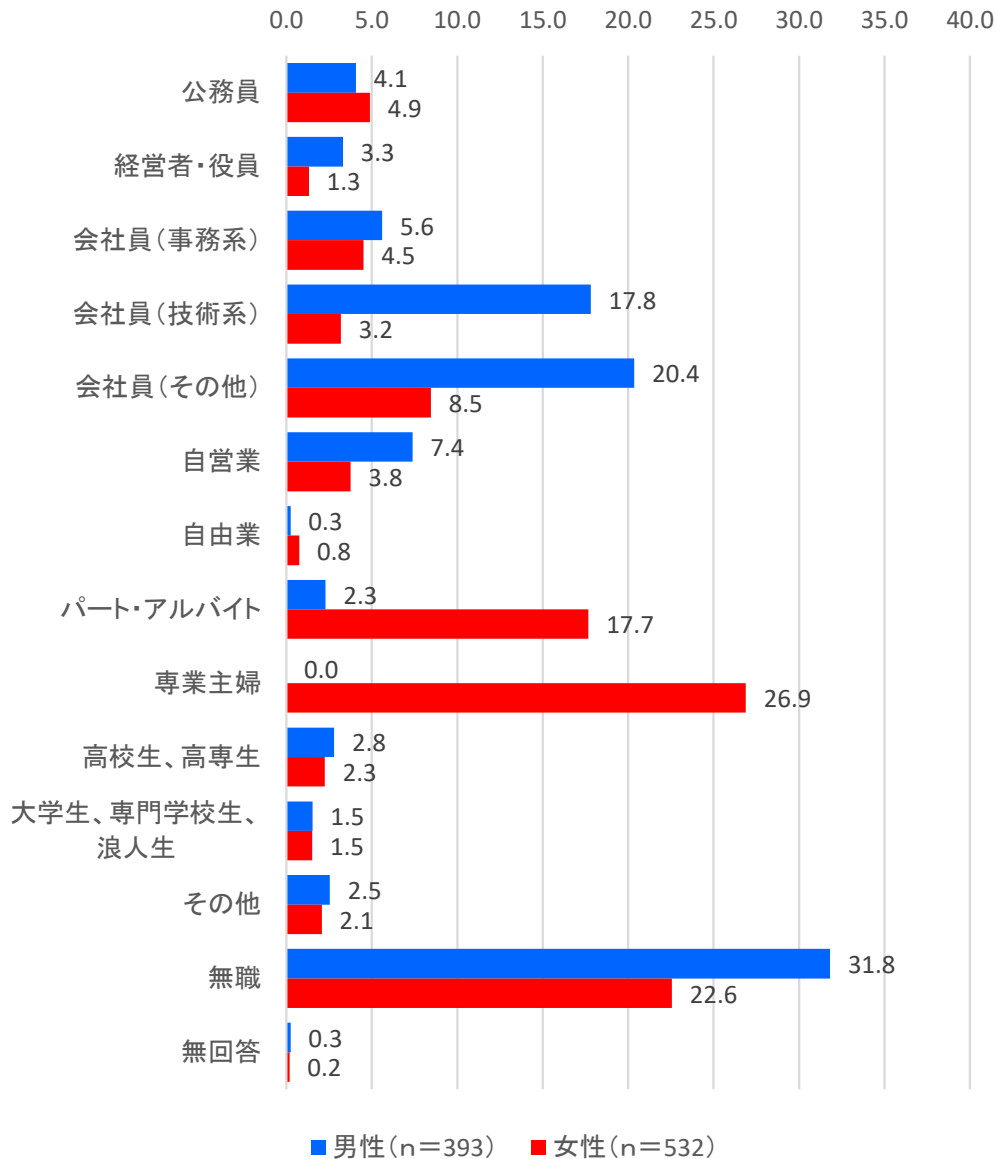
同居している子どもについては、「未就学児」、「小学生」、「中学生」及び「高校生、高専生」の合計で比較すると、男女ともほぼ10%前後で推移している。

全体としてみると、「社会人、その他(男)」の割合が24.6%と最も高く、次に「社会人、その他(女)」が14.6%で続く。就職後も結婚までは実家暮らしをする人が多いとみられるが、男性よりも女性が少ないのは、女性の方が早く結婚するためと思われる。

5 職業

問6. あなたの職業はどれにあたりますか？（○は1つだけ）

図表 職業(性別)



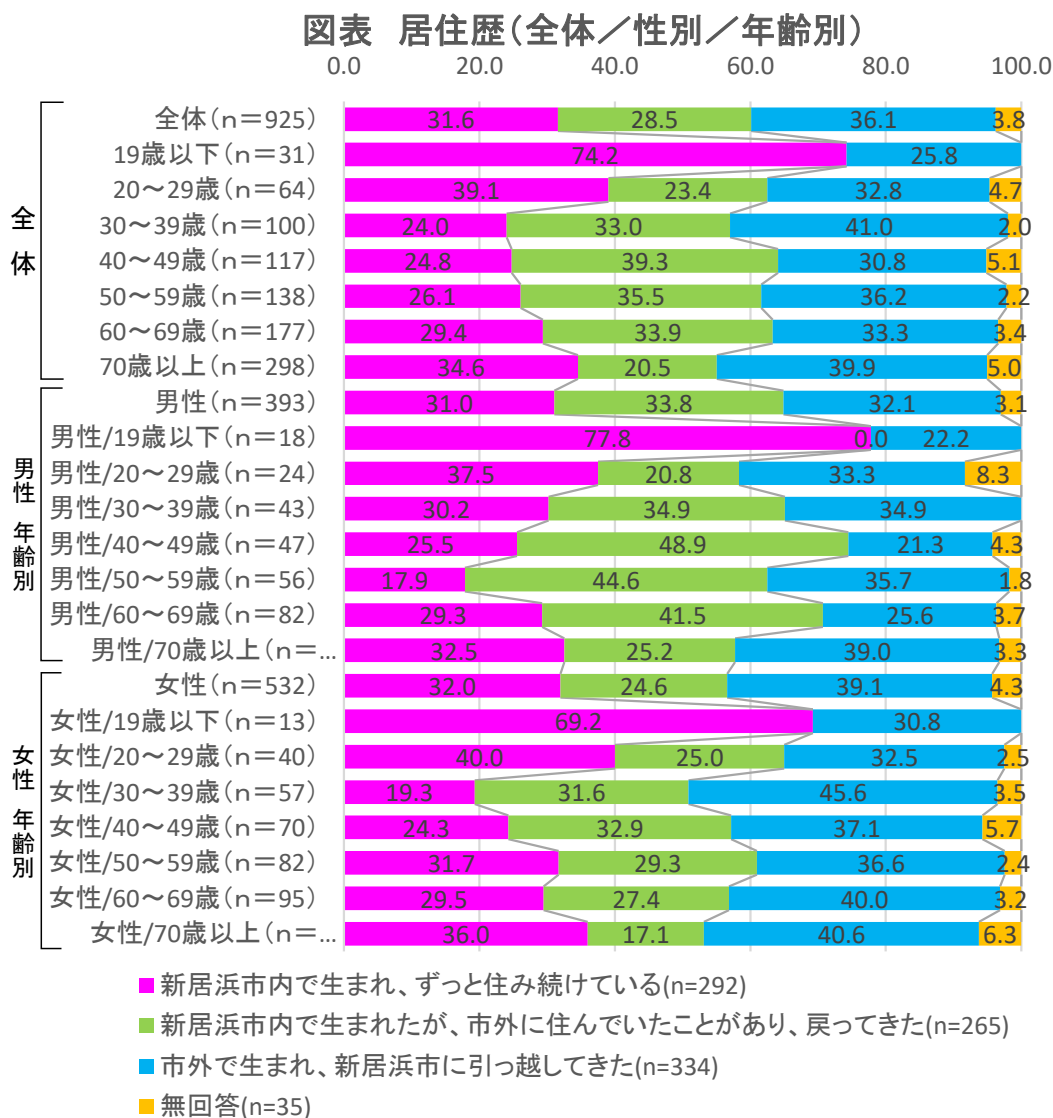
職業について、性別にみると、男性で最も多いのは「無職」(31.8%)で、これは回答者の50%以上が60歳以上であり、退職後の方が多く回答されていることからだと思われる。次いで「会社員(その他)」が20.4%、「会社員(技術系)」が17.8%。

「会社員(事務系)」の5.6%を加えると、43.8%の方が会社員となっている。

女性で最も多いのは専業主婦(26.9%)、次いで無職(22.6%)、パート・アルバイト(17.7%)。女性の会社員は「会社員(その他)」8.5%、「会社員(事務系)」4.5%、「会社員(技術系)」3.2%、合計で16.2%となっている。

6 居住歴

問7. あなたの生まれ育った場所はどちらですか？ 次の中からあてはまるものをお選びください。（○は1つだけ）



居住歴について、全体で見ると、「新居浜市内で生まれ、ずっと住み続けている」31.6%、「新居浜市内で生まれたが、市外に住んでいたことがあり、戻ってきた」が28.5%、「市外で生まれ、新居浜市に引っ越してきた」が36.1%となっており、いずれも3割前後となっている。

年齢別にみると、20~29歳では「新居浜市内で生まれ、ずっと住み続けている」が男性で37.5%、女性で40.0%とこの世代で最も多い一方で、「新居浜市内で生まれたが、市外に住んでいたことがあり、戻ってきた」が男性で20.8%、女性で25.0%と最も少なく、進学を機に市外に出た若者が帰ってきていないと思われる。

しかし、男性の場合、「新居浜市内で生まれたが、市外に住んでいたことがあり、戻ってきた」が30~39歳で34.9%、40~49歳で48.9%、50~59歳で44.6%とそれぞれの世代で最も多く、子育てなどを機にUターンするケースが多いと予想される。

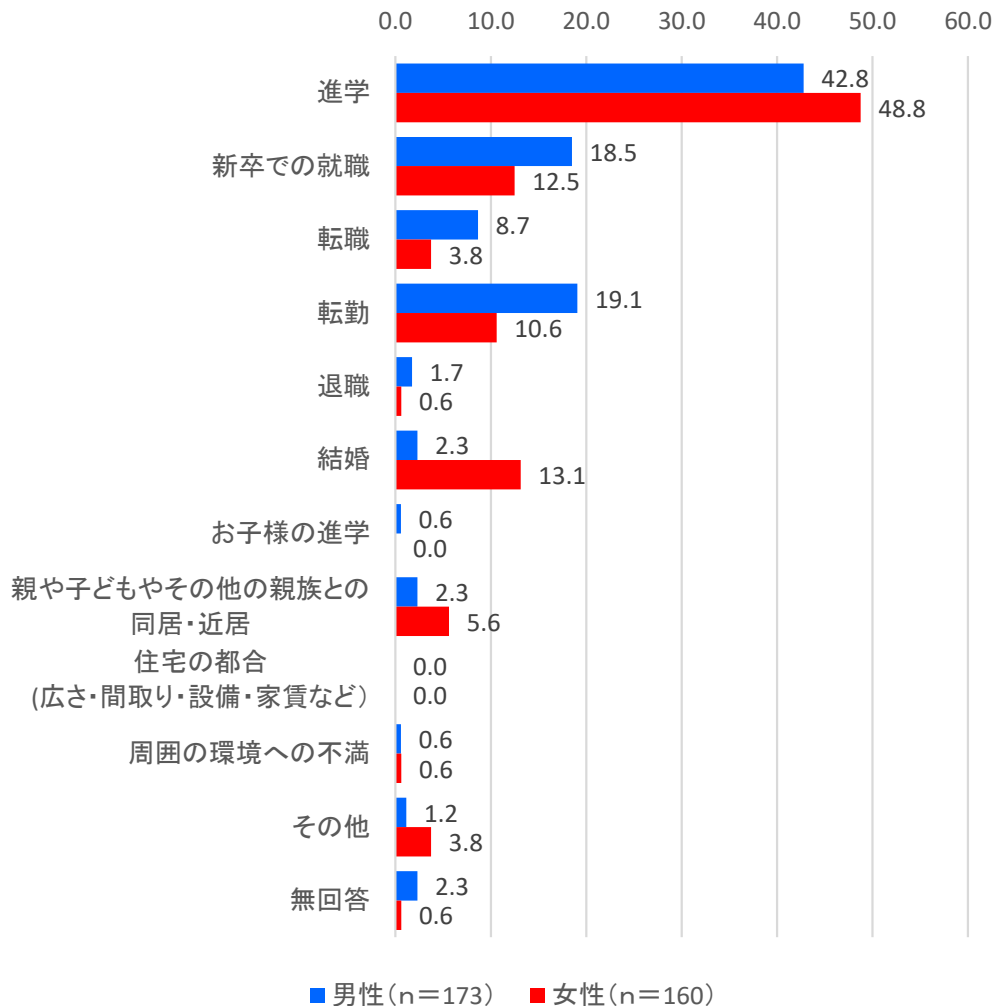
一方で女性は30~39歳で31.6%、40~49歳で32.9%、50~59歳で29.3%と男性に比べると少なく、子育て世代になっても戻ってきていないと思われる。

また、女性の「市外で生まれ、新居浜市内に引っ越してきた」が30~39歳で45.6%、40~49歳で37.1%、50~59歳で36.6%と多くなっているのは、Uターンや転入者の男性のパートナーと思われる。

7 市外への転出理由

問8. 市内で生まれたが、市外に住んでいた方に伺います。市外に転居された理由は何ですか？（〇はいくつでも）

図表 市外への転出理由(性別)



市外への転出理由については、男女とも「進学」が最も高く、男性42.8%、女性48.8%となっている。

2番目に多い理由は、男性の場合「転勤」（19.1%）だが、女性の場合「結婚」（13.1%）となっている。

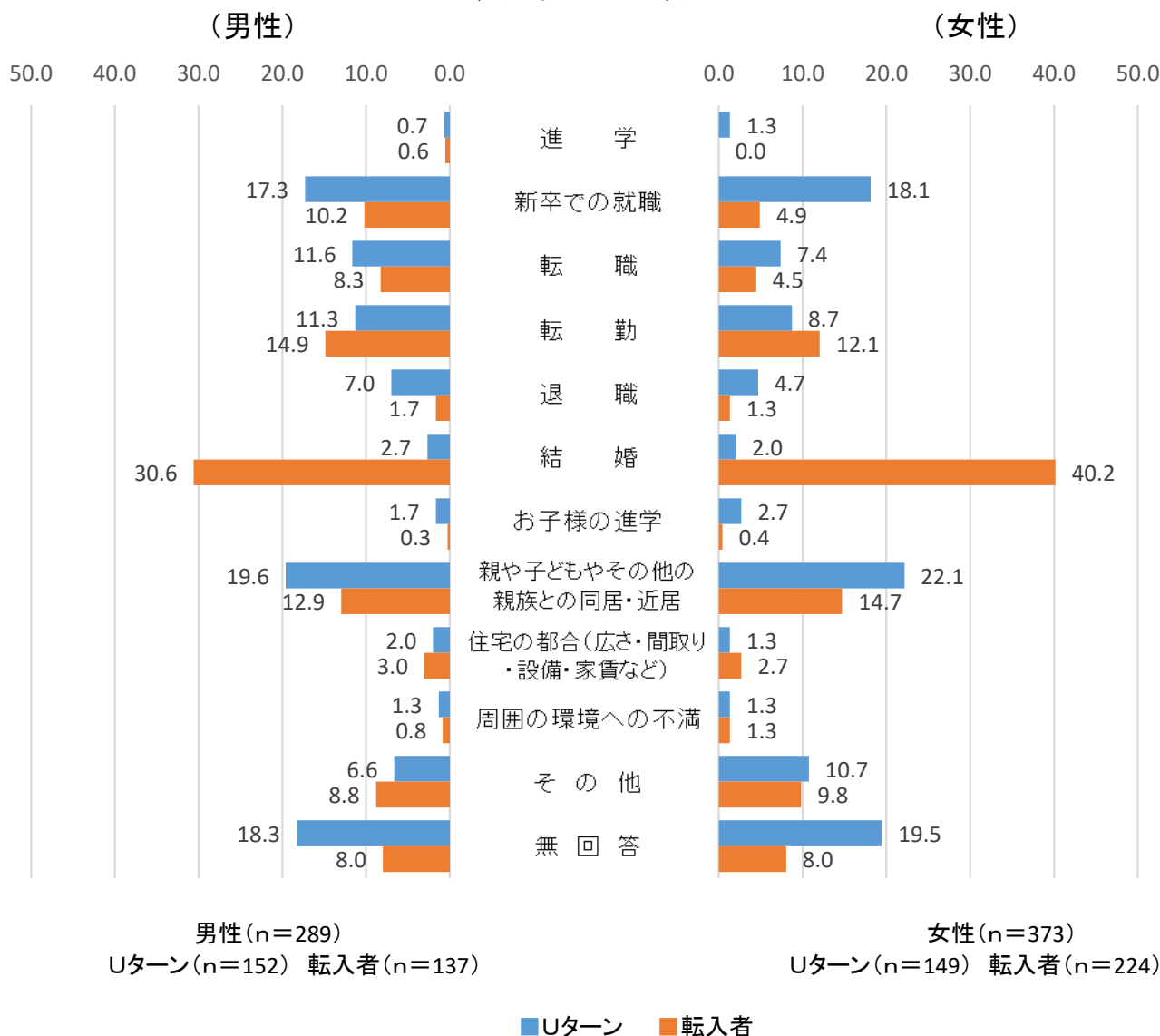
3番目に多い理由は男女とも「新卒での就職」で、男性18.5%、女性12.5%となっている。

市内には大学がないため、進学での転出は現状では止むを得ないが、市内企業への就職支援や市内男女の結婚支援などにより、若い世代の市内への定着が促進されると思われる。

8 市内への転入理由

問9. 新居浜市に戻ってきた方、引っ越してきた方に伺います。新居浜市に転居された理由は何ですか？（〇はいくつでも）

図表 市内への転入理由



市内への転入理由について、Uターンで最も多いのは男女ともに「親や子どもやその他の親族との同居・近居」で、男性19.6%、女性22.1%。2番目に多い理由も男女とも「新卒での就職」で、男性17.3%、女性18.1%。

3番目以降は、男性の場合は3位「転職」(11.6%)、4位「転勤」(11.3%)、5位「退職」(7.0%)で、女性は3位「その他」(10.7%)、4位「転勤」(8.7%)、5位「転職」(7.4%)。

一方、転入者では、最も多いのは男女とも「結婚」で男性30.6%、女性40.2%。2番目以降は、男性の場合は2位「転勤」(14.9%)、3位「親や子どもやその他の親族との同居・近居」(12.9%)、女性の場合は2位「親や子どもやその他の親族との同居・近居」(12.9%)、3位「転勤」(12.1%)。

Uターンに多い「新卒での就職」や「転職」は比較的少ない。

9 居住年数

問10. 新居浜市内に住んでいる期間は通算で何年になりますか？（○は1つだけ）

		2年未満	2年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 30年未満	30年以上
全体 (n=884)		2.4	2.8	2.9	3.9	5.3	13.5	64.3
男性	男性全体 (n=375)	2.0	3.3	2.5	3.3	5.6	14.8	63.9
	19歳以下 (n=17)	0.0	5.6	0.0	16.7	72.2	0.0	0.0
	20～29歳 (n=22)	8.3	20.8	8.3	4.2	4.2	45.8	0.0
	30～39歳 (n=42)	7.0	7.0	4.7	4.7	7.0	27.9	39.5
	40～49歳 (n=46)	0.0	2.1	8.5	6.4	4.3	21.3	55.3
	50～59歳 (n=55)	5.4	3.6	1.8	1.8	5.4	17.9	62.5
	60～69歳 (n=76)	0.0	1.2	0.0	2.4	0.0	14.6	74.4
	70歳以上 (n=117)	0.0	0.0	0.8	0.8	0.0	2.4	91.1
女性	女性全体 (n=507)	2.6	2.4	3.2	4.3	5.1	12.8	64.8
	19歳以下 (n=13)	0.0	0.0	7.7	15.4	76.9	0.0	0.0
	20～29歳 (n=38)	15.0	10.0	5.0	7.5	7.5	50.0	0.0
	30～39歳 (n=54)	3.5	10.5	14.0	10.5	3.5	19.3	33.3
	40～49歳 (n=68)	1.4	1.4	5.7	7.1	11.4	14.3	55.7
	50～59歳 (n=77)	2.4	2.4	0.0	3.7	2.4	19.5	63.4
	60～69歳 (n=88)	0.0	0.0	1.1	3.2	1.1	9.5	77.9
	70歳以上 (n=169)	1.7	0.0	0.6	0.6	0.6	1.1	92.0
居住歴別	出身者 (n=287)	0.0	0.0	0.0	0.3	8.6	8.2	81.2
	Uターン (n=241)	0.0	0.4	0.8	2.7	1.1	17.4	68.9
	転入者 (n=322)	6.5	7.1	6.8	7.7	6.3	15.2	46.1

居住年数について、「30年以上」が全体で64.3%、男性で63.9%、女性で64.8%とおよそ3分の2を占めている。居住歴別にみても、出身者で81.2%、Uターンで68.9%、転入者で46.1%と、それぞれ最多となっている。

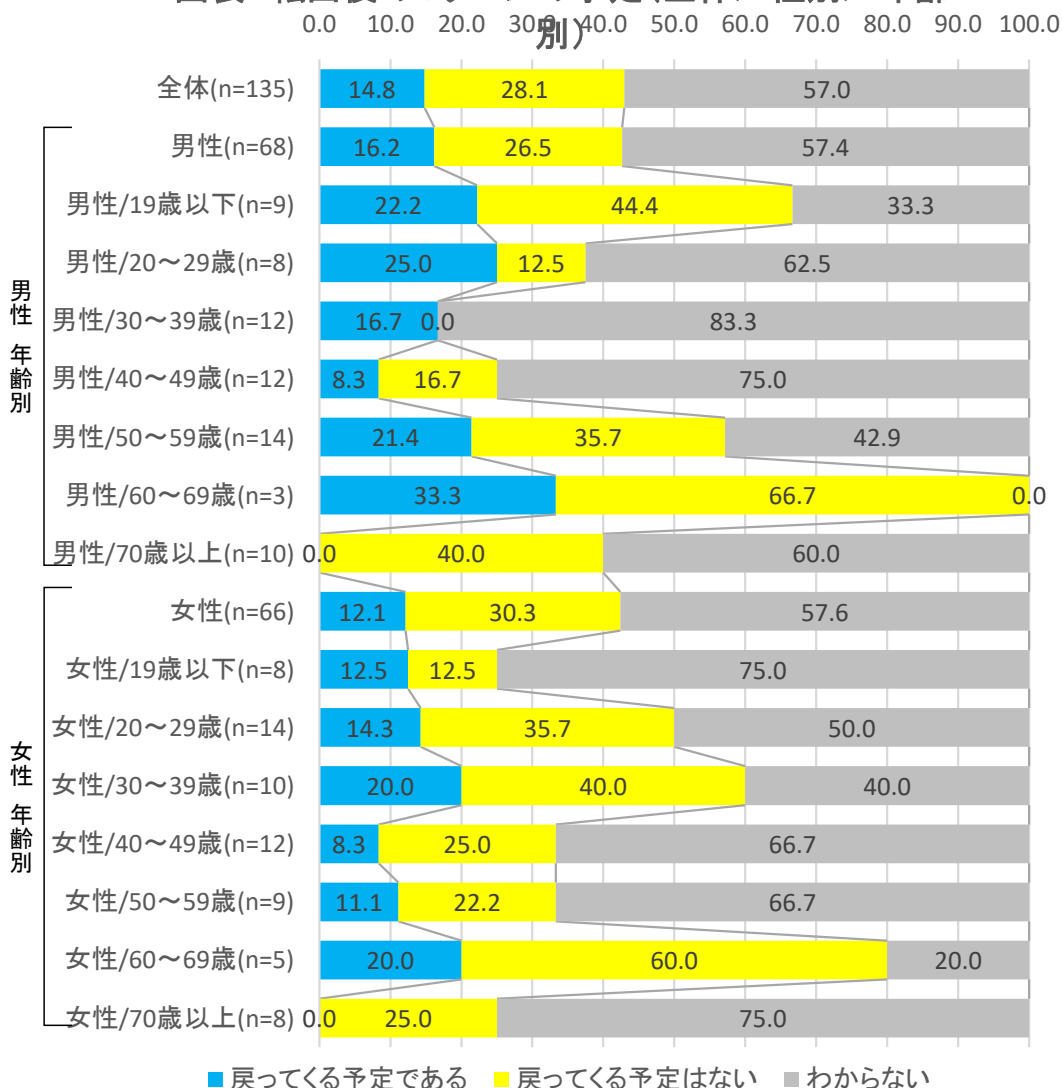
年代別に見ても、19歳以下では「15年以上20年未満」が男性72.2%、女性76.9%、20～29歳では「20年以上30年未満」が男性45.8%、女性50.0%と最も多く、30歳以上でも「30年以上」が各世代で最も多くなっており、また、年齢が上がるほど「30年以上」の割合が増えている。

このことから、出身者はもちろん、Uターンや転入者においても、新居浜市に住み続けている人、定着している人が多いと思われる。

10 転出後のUターンの予定

問11. 今後、新居浜市から転出する予定がある方に伺います。あなたは、その後新居浜市に戻ってくる予定はありますか？（○は1つだけ）

図表 転出後のUターンの予定(全体/性別/年齢)



転出後のUターンの予定については、全体で「戻ってくる予定である」が14.8%、「戻ってくる予定はない」が28.1%、「わからない」が57.0%で、「戻ってくる予定はない」が「戻ってくる予定である」の約2倍となっている。

性別にみると、男性は「戻ってくる予定である」が16.2%、「戻ってくる予定はない」が26.5%、「わからない」が57.4%、女性は「戻ってくる予定である」が12.1%、「戻ってくる予定はない」が30.3%、「わからない」が57.6%となっており、女性よりも男性の方がUターンの意向が低い。

年齢別にみると、男女とも年齢が上がるにつれて「戻ってくる予定である」の割合が高まるが、40～49歳で一旦下がり、また上昇する傾向がある。また、60～69歳では「戻ってくる予定がない」の割合が最も高くなり、70歳以上では「戻ってくる予定である」の割合が0%になるなど、高齢者に関しては、子どもとの同居や介護を受けるなどの理由で転出した場合、戻ってこないと考えていることが分かる。

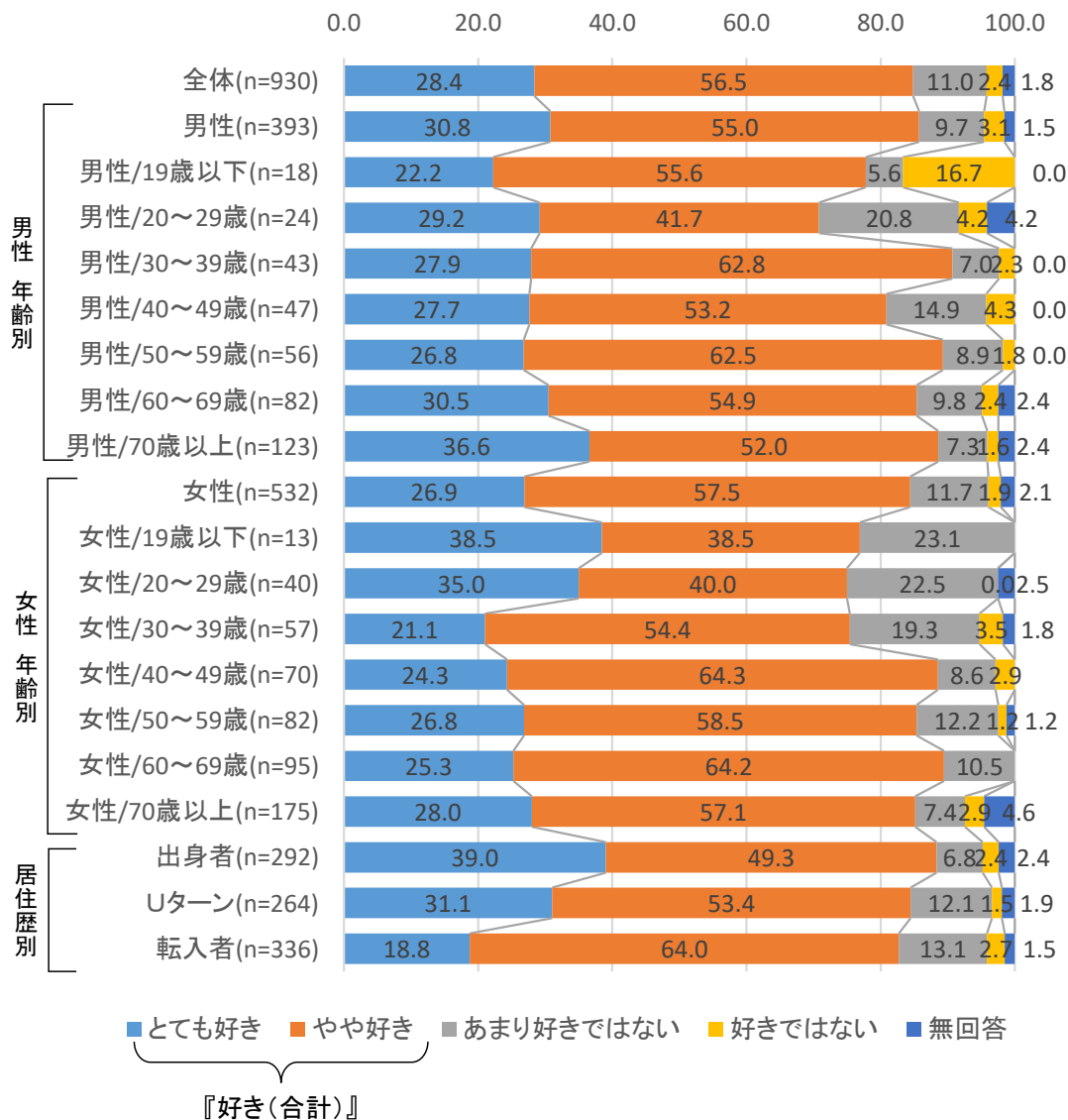
Ⅲ. 調査結果

① 新居浜市の評価

1 新居浜市への好意度

問12. あなたは、新居浜市を、どのくらい「好き」ですか？（○は1つだけ）

図表 新居浜市への好意度(全体/性別/年齢別)



新居浜市への好意度について、全体では「とても好き」28.4%、「やや好き」56.5%、あわせて『好き(合計)』83.9%となっている。

性別では、男性が「とても好き」30.8%、「やや好き」55.0%、あわせて『好き(合計)』85.8%、女性が「とても好き」26.9%、「やや好き」57.5%、あわせて『好き(合計)』84.4%となっており、大きな差はみられない。

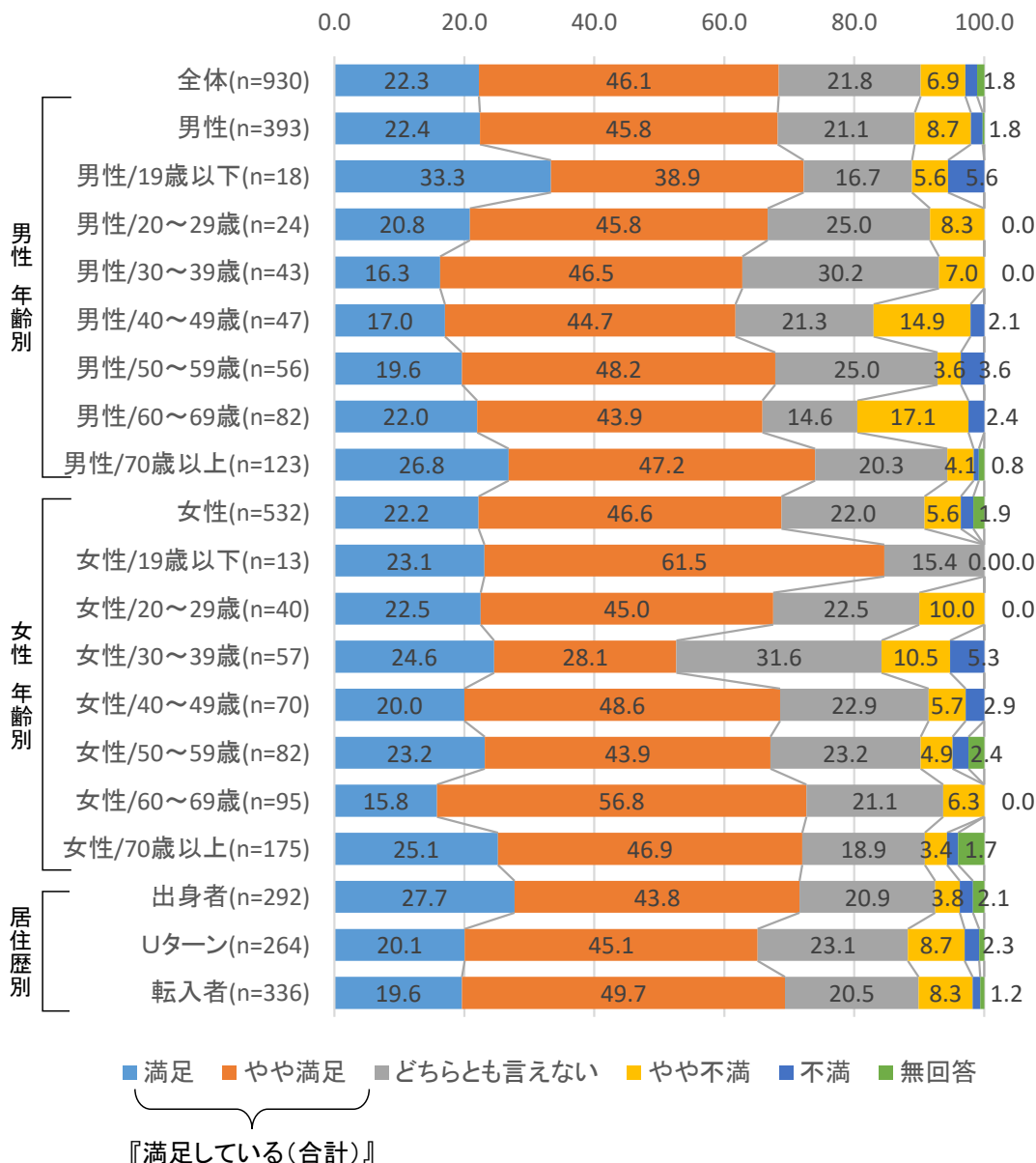
年齢別では、年齢が上がるほど好意度が高くなる傾向にあるが、若い世代では「あまり好きではない」や「好きではない」の割合が高い傾向にある。

居住歴別では、出身者、Uターン、転入者の順に「とても好き」と、『好き(合計)』の割合が高いが、逆に転入者、Uターン、出身者の順に「あまり好きではない」の割合が高い。

2 新居浜市の住みごこち

問13. 新居浜市の「住みごこち」について、どう思いますか？（○は1つだけ）

図表 新居浜市の住みごこち(全体/性別/年齢別)



新居浜市の住みごこちについて、全体では「満足」22.3%、「やや満足」46.1%、あわせて『満足している(合計)』68.4%となっている。

性別では、男性が「満足」22.4%、「やや満足」45.8%、あわせて『満足している(合計)』68.2%、女性が「満足」22.2%、「やや満足」46.6%、あわせて『満足している(合計)』68.8%となっており、ほぼ同程度の結果となっている。

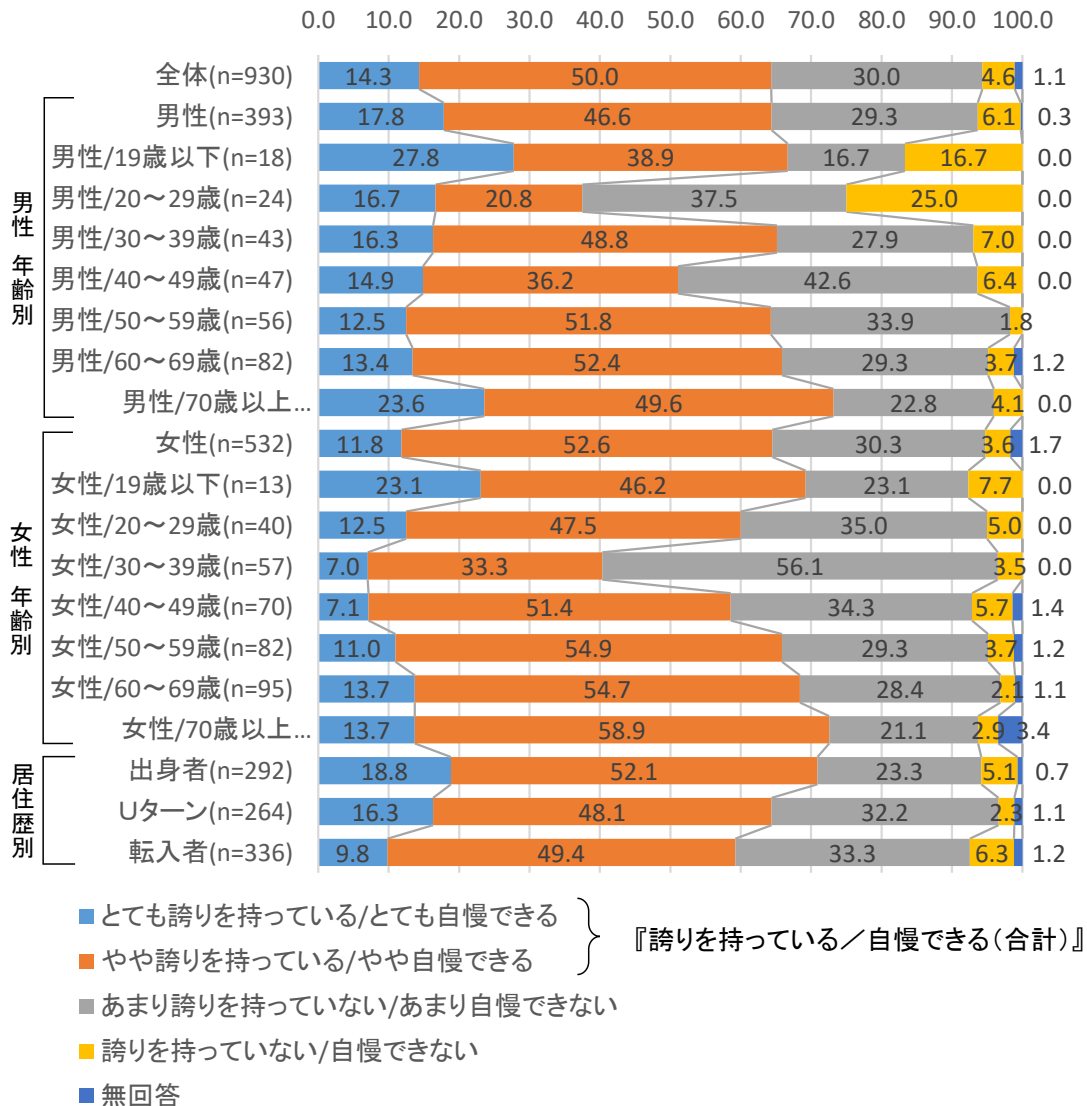
年齢別では、男性では40～49歳、女性では30～39歳を中心に満足度が下がる傾向にある。また、「やや不満」は男性では40～49歳(14.9%)、60～69歳(17.1%)に、女性では20～29歳(10.0%)、30～39歳(10.5%)に多く見られる。

居住歴別では、出身者、Uターン、転入者の順に「満足」の割合が高いが、『満足している(合計)』の割合でみると出身者71.5%、Uターン65.2%、転入者69.3%と大きな差はみられないが、「やや不満」は出身者が3.8%に対し、Uターン8.7%、転入者8.3%とやや高い。

3 新居浜市に対する誇り・自慢

問14. あなたは、新居浜市の住民であることに、どのくらい「誇りを持てる／自慢できる」と感じますか？（○は1つだけ）

図表 新居浜に対する誇り・自慢(全体／性別／年齢別)



新居浜市に対する誇り・自慢について、全体では「とても誇りを持っている／とても自慢できる」14.3%、「ややとても誇りを持っている／やや自慢できる」50.0%、あわせて『誇りを持っている／自慢できる(合計)』64.3%となっている。

性別では、男性が「とても誇りを持っている／とても自慢できる」17.8%、「やや誇りを持っている／やや自慢できる」46.6%、あわせて『誇りを持っている／自慢できる(合計)』64.4%、女性が「とても誇りを持っている／とても自慢できる」11.8%、「やや誇りを持っている／やや自慢できる」52.6%、あわせて『誇りを持っている／自慢できる(合計)』64.4%となっており、男性の方が「とても誇りを持っている／とても自慢できる」の割合がやや高いものの、『誇りを持っている／自慢できる(合計)』では同じ結果となっている。

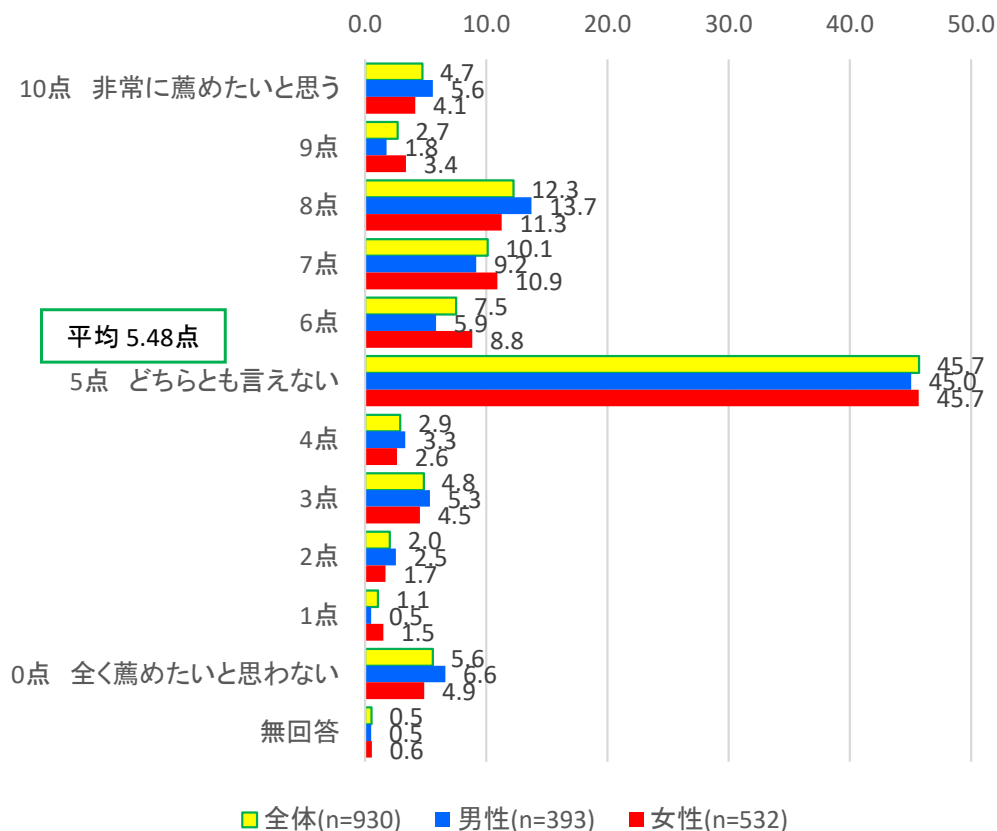
年齢別では、男性40～49歳、女性30～39歳において誇り度／自慢度が下がるのは「住みごころ」と同様だが、男性20～29歳において大きく下がっているのが異なる。

居住歴別では、出身者、Uターン、転入者の順に「とても誇りを持っている／とても自慢できる」の割合が高い。一方、「あまり誇りを持っていない／あまり自慢できない」の割合は出身者に比べてUターン、転入者が約10%高い。

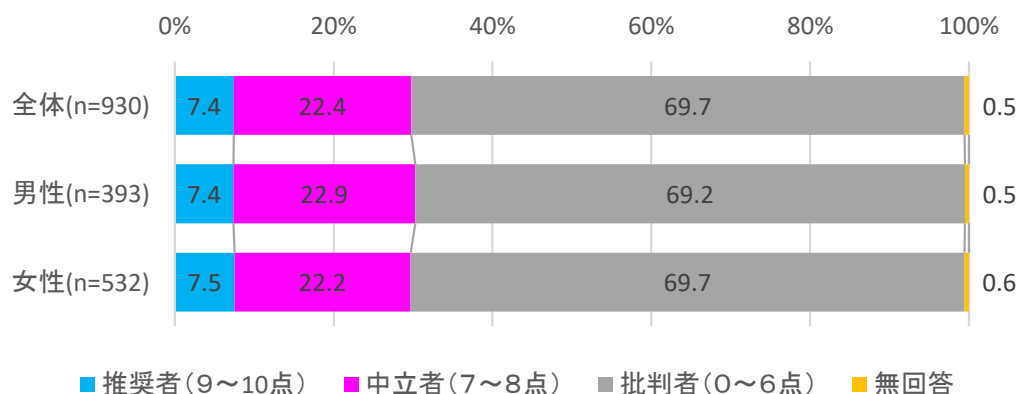
4 新居浜市への居住推奨度

問15. あなたは、「新居浜市に住むこと」を市外に住んでいる友人・知人などに薦めたいと思いますか？ その程度を0点～10点のうちからお選びください。
(○は1つだけ)

図表 新居浜市への居住推奨度(全体／性別)

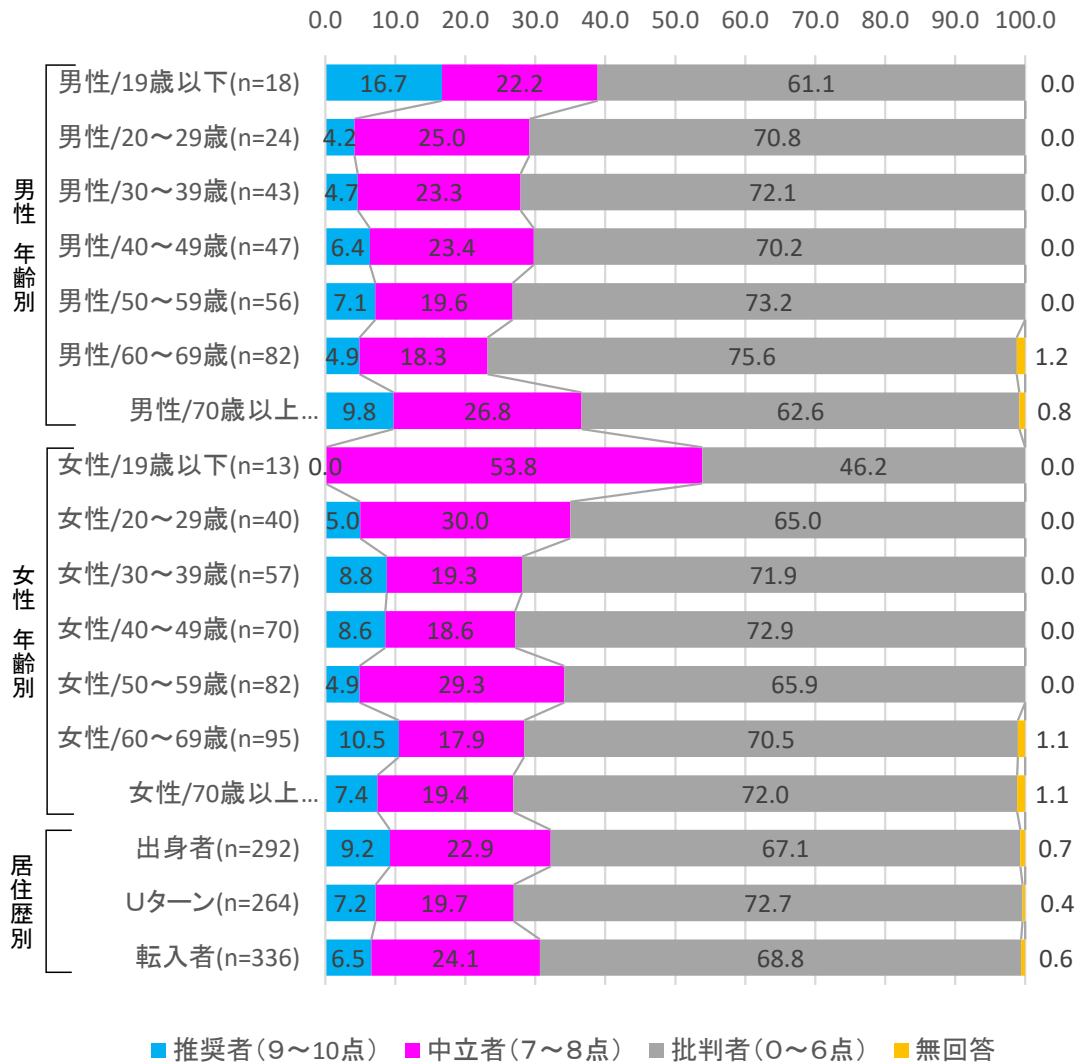


図表 新居浜市への居住推奨度(全体／性別)



新居浜市への居住推奨度について、全体で平均は5.48点。「5点 どちらとも言えない」の割合が最も高い。次いで「8点」12.3%、「7点」10.1%、「6点」7.5%の順に高かった。
性別では大きな差は見られなかった。

図表 新居浜市への居住推奨度(性別/年齢別/居住歴別)



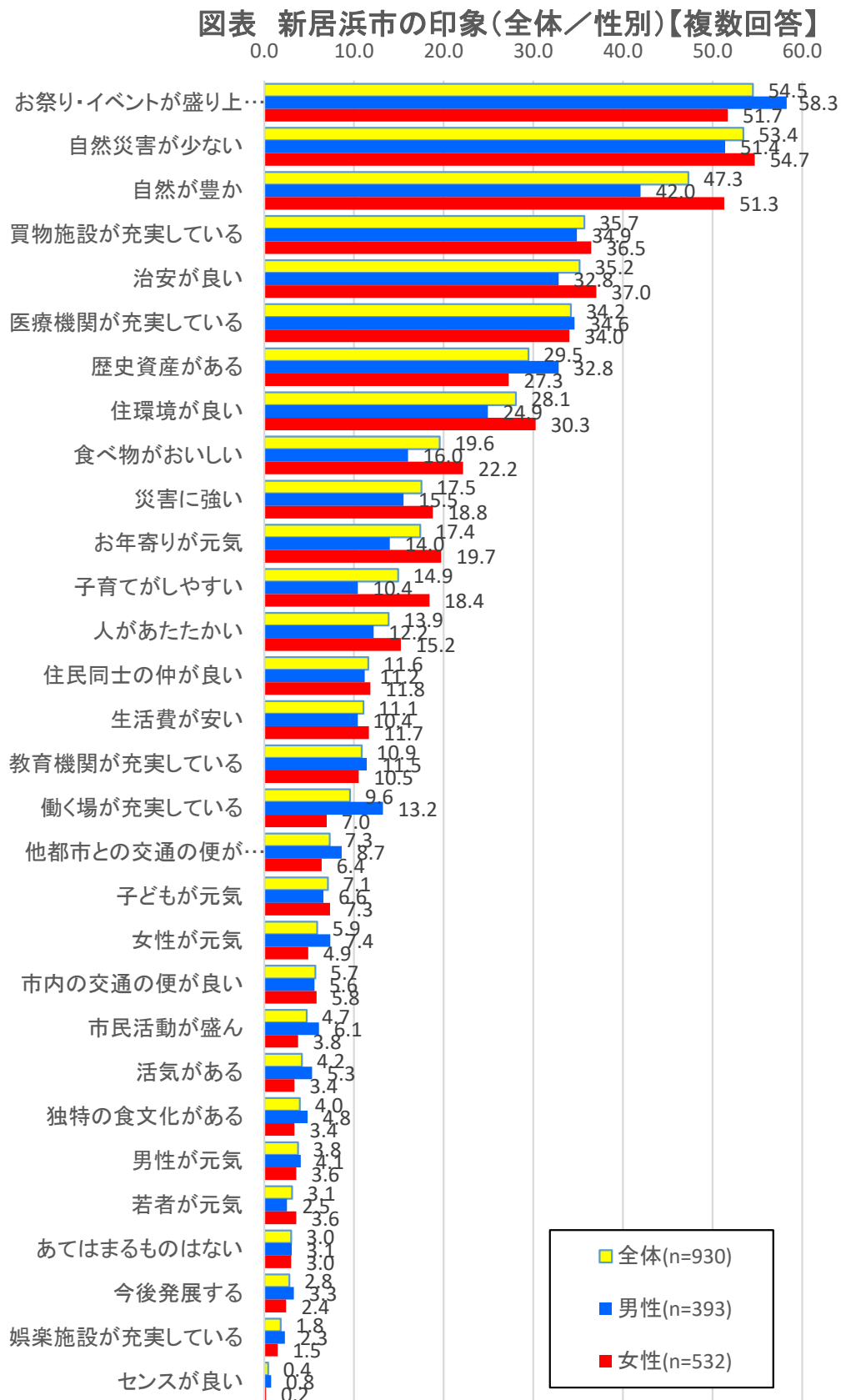
年齢別にみると、年齢が高くなるにつれて推奨者の割合が増える傾向にあるが、男性60~69歳、女性50~59歳で一旦下がっている。女性の場合、50~59歳で中立者の割合が増え、結果として批判者の割合が減っているが、男性の場合、60~69歳で中立者の割合も微減しており、結果批判者の割合が増えている。

男性60~69歳において、「住みごこち」や「誇り・自慢度」では大きな減少がないにもかかわらず居住推奨度が下がっていることについては、この年代は定年退職して老後をどこで過ごすか考える年齢であり、他人への推奨に関してはやや消極的になっているものと考えられる。

居住歴別にみると、推奨者については出身者(9.2%)、Uターン(7.2%)、転入者(6.5%)の順に高くなっている。また、批判者については、転入者(68.8%)が出身者(67.1%)と同程度であるのに対し、Uターン(72.7%)はやや高くなっている。

5 新居浜市の印象

問16. あなたは、新居浜市についてどのような印象をお持ちですか？ あてはまるものをすべてお選びください。（〇はいくつでも）



新居浜市の印象について、全体では「お祭り・イベントが盛り上がる」（54.5%）が最も多く、「自然災害が少ない」（53.4%）、「自然が豊か」（47.3%）が続く。
 生別でもこの傾向に大きな差はみられないものの、男性は「お祭り・イベントが盛り上がる」（58.3%）、「自然災害が少ない」（51.4%）、「自然が豊か」（42.0%）と全体と同じ順番なのに対し、女性は「自然災害が少ない」（54.7%）が最も多く、「お祭り・イベントが盛り上がる」（51.7%）「自然が豊か」（51.3%）となり、女性は男性に比べて生活環境の良さを重視している。
 また、「働く場が充実している」については、男性13.2%に対し女性7.0%と男女差が見られる。女性の働く場所の充実が課題となってくる。

図表 新居浜市の印象（性別/年齢別/居住歴別）【複数回答】

		お祭り・イベントが盛り上がる	自然災害が少ない	自然が豊か	買物施設が充実している	治安が良い	医療機関が充実している	歴史資産がある	住環境が良い	食べ物がおいしい	災害に強い
男性 年齢別	男性/19歳以下(n=18)	77.8	44.4	55.6	44.4	27.8	27.8	16.7	38.9	38.9	22.2
	男性/20～29歳(n=24)	54.2	41.7	25.0	29.2	20.8	8.3	37.5	25.0	8.3	20.8
	男性/30～39歳(n=43)	60.5	27.9	27.9	16.3	20.9	11.6	32.6	20.9	14.0	11.6
	男性/40～49歳(n=47)	70.2	51.1	46.8	27.7	19.1	25.5	31.9	21.3	8.5	4.3
	男性/50～59歳(n=56)	55.4	41.1	44.6	32.1	28.6	39.3	33.9	17.9	17.9	8.9
	男性/60～69歳(n=82)	52.4	57.3	45.1	35.4	35.4	29.3	30.5	26.8	11.0	8.5
	男性/70歳以上(n=123)	56.1	63.4	43.1	44.7	45.5	53.7	35.8	27.6	20.3	26.8
女性 年齢別	女性/19歳以下(n=13)	69.2	38.5	30.8	46.2	23.1	15.4	30.8	23.1	23.1	7.7
	女性/20～29歳(n=40)	62.5	35.0	37.5	25.0	22.5	12.5	15.0	35.0	12.5	10.0
	女性/30～39歳(n=57)	42.1	26.3	43.9	26.3	22.8	19.3	12.3	21.1	5.3	3.5
	女性/40～49歳(n=70)	54.3	38.6	45.7	25.7	27.1	22.9	24.3	25.7	21.4	7.1
	女性/50～59歳(n=82)	52.4	47.6	54.9	34.1	37.8	36.6	30.5	30.5	17.1	12.2
	女性/60～69歳(n=95)	49.5	65.3	61.1	41.1	37.9	45.3	30.5	36.8	23.2	30.5
	女性/70歳以上(n=175)	50.9	73.7	53.7	44.6	49.1	42.3	32.6	30.9	32.0	28.0
居住歴別	出身者(n=292)	63.0	57.5	48.6	37.0	42.1	32.9	29.5	29.1	22.9	21.6
	Uターン(n=264)	55.7	55.3	48.5	27.3	33.7	33.7	26.9	28.8	20.8	15.2
	転入者(n=336)	47.6	48.5	45.5	40.8	29.8	36.3	32.1	26.5	16.1	16.1

※網掛けは年齢別で「新居浜市の印象」として回答した割合が40%以上のもの。
 赤字は各項目で「男性 年齢別」、「女性 年齢別」、「居住歴別」で最も割合が高いもの。

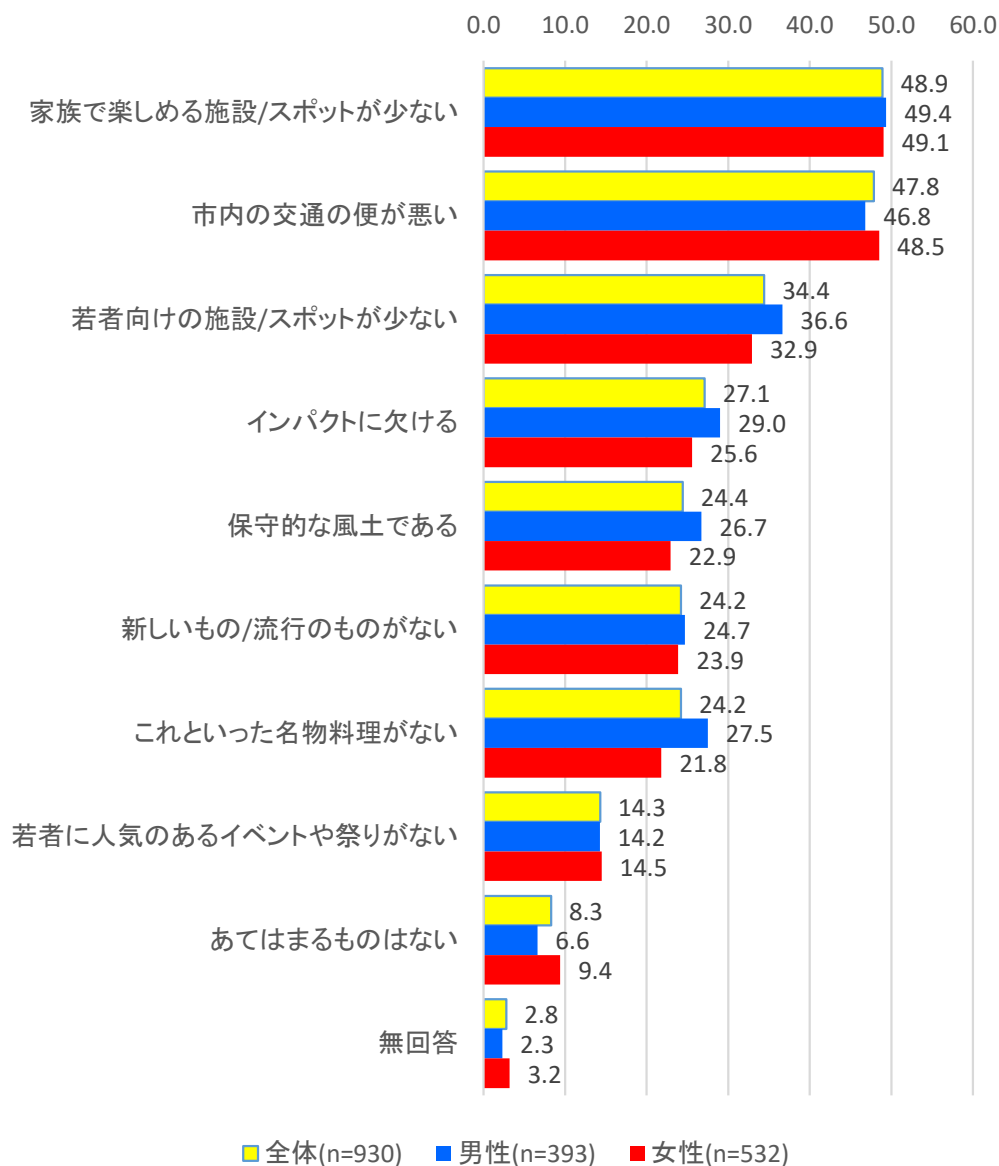
		お年寄りが元気	子育てがしやすい	人があたたかい	住民同士の仲が良い	生活費が安い	教育機関が充実している	働く場が充実している	他都市との交通の便が良い	子どもが元気	女性が元気
男性 年齢別	男性/19歳以下(n=18)	27.8	5.6	33.3	11.1	11.1	27.8	16.7	5.6	27.8	22.2
	男性/20～29歳(n=24)	12.5	8.3	8.3	0.0	8.3	20.8	12.5	4.2	0.0	0.0
	男性/30～39歳(n=43)	14.0	18.6	7.0	9.3	2.3	4.7	16.3	7.0	11.6	2.3
	男性/40～49歳(n=47)	8.5	14.9	10.6	8.5	14.9	8.5	21.3	6.4	4.3	8.5
	男性/50～59歳(n=56)	7.1	12.5	10.7	12.5	10.7	10.7	12.5	8.9	1.8	1.8
	男性/60～69歳(n=82)	15.9	4.9	11.0	7.3	14.6	11.0	8.5	4.9	6.1	4.9
	男性/70歳以上(n=123)	16.3	9.8	13.8	17.1	8.9	11.4	12.2	13.8	6.5	12.2
女性 年齢別	女性/19歳以下(n=13)	7.7	30.8	23.1	15.4	0.0	23.1	0.0	0.0	15.4	7.7
	女性/20～29歳(n=40)	17.5	25.0	15.0	2.5	17.5	7.5	15.0	5.0	10.0	5.0
	女性/30～39歳(n=57)	19.3	31.6	10.5	1.8	3.5	14.0	5.3	3.5	8.8	3.5
	女性/40～49歳(n=70)	12.9	27.1	11.4	4.3	5.7	4.3	4.3	5.7	8.6	1.4
	女性/50～59歳(n=82)	17.1	17.1	8.5	7.3	14.6	13.4	9.8	12.2	4.9	0.0
	女性/60～69歳(n=95)	20.0	15.8	16.8	9.5	9.5	13.7	9.5	5.3	4.2	2.1
	女性/70歳以上(n=175)	25.1	10.3	20.0	23.4	16.0	8.6	4.6	6.3	8.0	10.3
居住歴別	出身者(n=292)	17.5	14.0	14.7	13.7	7.9	13.0	10.6	6.8	8.2	7.9
	Uターン(n=264)	16.3	14.4	11.7	11.4	12.5	9.8	6.8	6.4	4.5	3.0
	転入者(n=336)	18.2	16.4	15.2	10.4	13.4	9.8	10.4	8.6	8.0	6.5

		市内の交通の便が良い	市民活動が盛ん	活気がある	独特の食文化がある	男性が元気	若者が元気	あてはまるものはない	今後発展する	娯楽施設が充実している	センスが良い
男性 年齢別	男性/19歳以下(n=18)	5.6	11.1	27.8	5.6	22.2	27.8	0.0	5.6	0.0	5.6
	男性/20～29歳(n=24)	0.0	4.2	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.2	4.2
	男性/30～39歳(n=43)	4.7	7.0	7.0	7.0	2.3	4.7	7.0	7.0	2.3	2.3
	男性/40～49歳(n=47)	2.1	4.3	8.5	4.3	8.5	0.0	4.3	2.1	0.0	0.0
	男性/50～59歳(n=56)	5.4	3.6	1.8	1.8	0.0	0.0	8.9	3.6	5.4	0.0
	男性/60～69歳(n=82)	7.3	2.4	1.2	7.3	2.4	0.0	1.2	1.2	1.2	0.0
	男性/70歳以上(n=123)	7.3	9.8	2.4	4.9	4.1	2.4	0.8	4.1	2.4	0.0
女性 年齢別	女性/19歳以下(n=13)	0.0	7.7	7.7	0.0	7.7	30.8	7.7	0.0	0.0	0.0
	女性/20～29歳(n=40)	2.5	0.0	2.5	2.5	10.0	5.0	2.5	5.0	5.0	0.0
	女性/30～39歳(n=57)	5.3	1.8	7.0	1.8	1.8	3.5	8.8	0.0	0.0	0.0
	女性/40～49歳(n=70)	7.1	2.9	5.7	2.9	1.4	2.9	5.7	2.9	2.9	0.0
	女性/50～59歳(n=82)	4.9	3.7	2.4	2.4	2.4	0.0	0.0	0.0	1.2	0.0
	女性/60～69歳(n=95)	2.1	1.1	2.1	4.2	3.2	1.1	0.0	3.2	0.0	0.0
	女性/70歳以上(n=175)	9.1	6.9	2.3	4.6	4.0	4.6	2.9	3.4	1.7	0.6
居住歴別	出身者(n=292)	7.5	6.2	5.5	4.8	4.8	4.5	3.8	3.4	2.1	0.0
	Uターン(n=264)	4.2	4.2	2.3	4.5	1.1	1.5	3.0	2.7	0.8	0.0
	転入者(n=336)	5.7	3.6	4.5	3.3	4.8	3.3	2.4	2.7	2.1	1.2

6 新居浜市の魅力を感じない点

問17. あなたが、新居浜市で魅力的でないと感じる点はどこですか？
(○はいくつでも)

図表 新居浜市の魅力を感じない点(全体／性別)【複数回答】



新居浜市の魅力を感じない点について、全体で最も多いのは「家族で楽しめる施設/スポットが少ない」(48.9%)、次いで「市内の交通の便が悪い」(47.8%)、「若者向けの施設/スポットが少ない」(34.4%)となっている。

性別でもこの傾向に大きな差はないが、女性に比べて男性の回答割合が多く、男性の方がより魅力を感じていないと思われる。

図表 新居浜市の魅力を感じない点（性別／年代別／居住歴別）【複数回答】

		家族で楽しむ施設／スポットが少ない	市内の交通の便が悪い	若者向けの施設／スポーツが少ない	インパクトに欠ける	保守的な風土である	新しいもの／流行のものがない	これといった名物料理がない	若者に人気のあるイベントがない	あてはまるものはない
男性 年齢別	男性/19歳以下(n=18)	44.4	33.3	66.7	38.9	16.7	27.8	22.2	16.7	5.6
	男性/20～29歳(n=24)	50.0	50.0	62.5	20.8	16.7	29.2	12.5	8.3	4.2
	男性/30～39歳(n=43)	51.2	23.3	48.8	37.2	18.6	39.5	27.9	20.9	11.6
	男性/40～49歳(n=47)	63.8	42.6	55.3	34.0	48.9	36.2	38.3	12.8	4.3
	男性/50～59歳(n=56)	53.6	44.6	41.1	25.0	33.9	21.4	32.1	17.9	5.4
	男性/60～69歳(n=82)	40.2	54.9	31.7	23.2	24.4	26.8	22.0	19.5	8.5
	男性/70歳以上(n=123)	48.0	53.7	17.1	30.1	22.8	13.8	28.5	8.1	5.7
女性 年齢別	女性/19歳以下(n=13)	69.2	53.8	69.2	23.1	0.0	53.8	30.8	23.1	15.4
	女性/20～29歳(n=40)	52.5	32.5	75.0	30.0	27.5	42.5	32.5	27.5	2.5
	女性/30～39歳(n=57)	59.6	29.8	47.4	33.3	22.8	43.9	21.1	22.8	8.8
	女性/40～49歳(n=70)	60.0	51.4	40.0	25.7	22.9	24.3	10.0	12.9	10.0
	女性/50～59歳(n=82)	48.8	51.2	34.1	23.2	28.0	22.0	20.7	18.3	11.0
	女性/60～69歳(n=95)	46.3	46.3	28.4	25.3	30.5	23.2	23.2	9.5	8.4
	女性/70歳以上(n=175)	40.6	56.6	14.9	23.4	17.1	12.0	23.4	9.7	10.3
居住歴別	出身者(n=292)	53.1	47.3	38.4	28.1	21.6	23.6	24.7	16.4	9.2
	Uターン(n=264)	48.5	50.8	36.7	26.9	28.8	28.8	24.2	15.2	6.1
	転入者(n=336)	47.0	46.1	29.5	27.1	24.4	22.0	24.4	12.2	8.9

※網掛けは年齢別で「新居浜市の印象」として回答した割合が40%以上のもの。

赤字は各項目で「男性 年齢別」、「女性 年齢別」、「居住歴別」で最も割合が高いもの。

年齢別にみると、「家族で楽しむ施設/スポットが少ない」については、男性40～49歳、女性は30～39歳を中心に割合が高くなっている。また「市内の交通の便が悪い」高年層で、「若者向けの施設/スポットが少ない」は若年層で割合が高くなっており、それぞれの世代に応じた回答となっている。

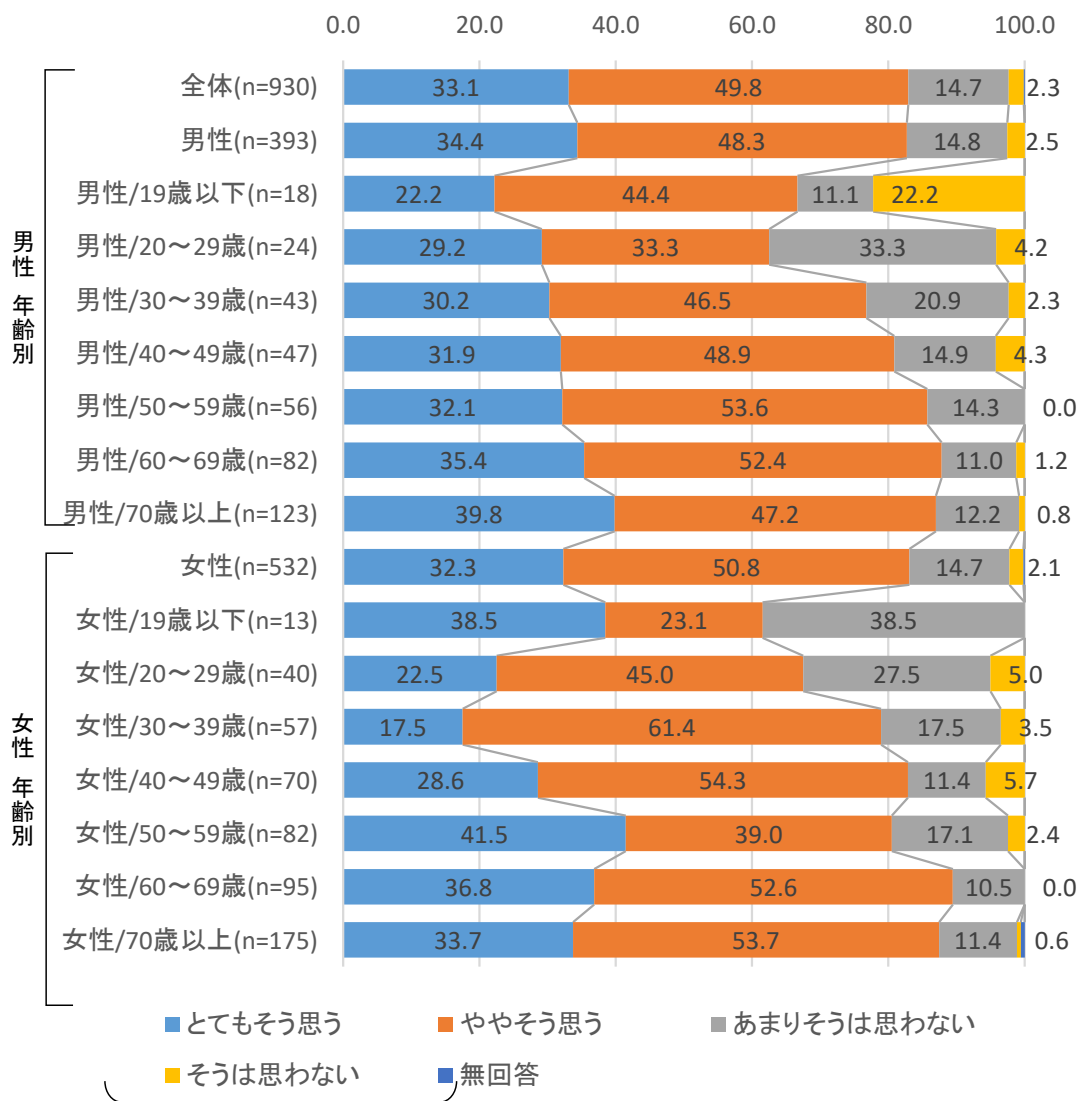
性別にみると、男性40～49歳には「保守的な風土である」と感じている人が多く、女性の若年層に「新しいもの/流行のものがない」と感じている人が多い。

居住歴別にみると、僅かな差ではあるものの、出身者は「魅力を感じない」と答えた項目が多い。また、Uターンは「市内の交通の便が悪い」、「保守的な風土である」、「新しいもの/流行のものがない」と答えた割合が多い。転入者は「魅力を感じない」と答えた項目が比較的少ない。

7 新居浜市への居住継続意向

問18. あなたは、これからも新居浜市に住み続けたいと思いますか？（○は1つだけ）

図表 新居浜市への居住継続意向(全体/性別/年齢別)

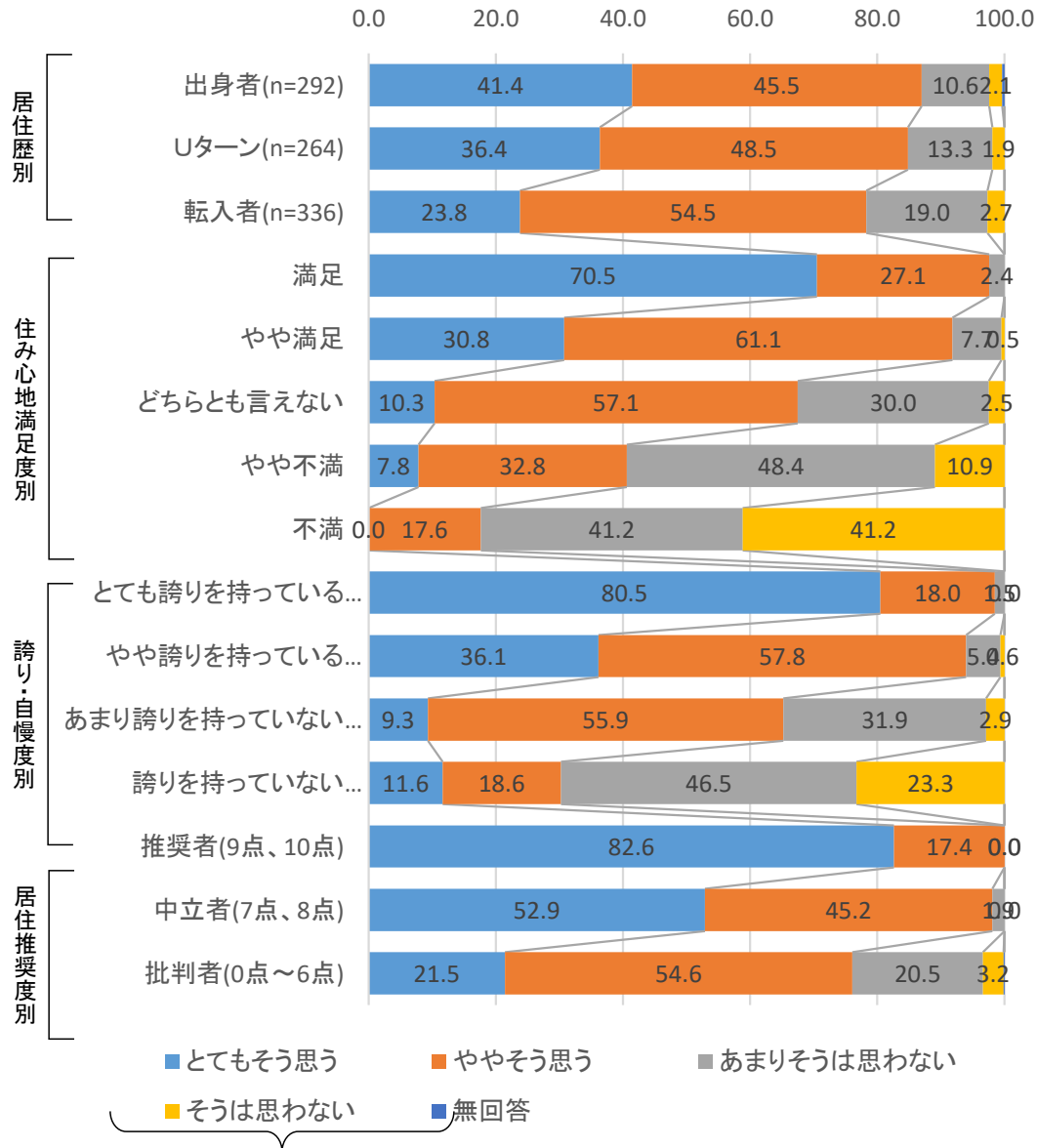


『居住継続意向がある(合

新居浜市への居住継続意向について、全体では「とてもそう思う」（33.1%）、「ややそう思う」（49.8%）、合わせて『居住継続意向がある（合計）』（82.9%）となっており、この傾向については性別で大きな差はみられない。

年齢別でみると、男性の場合、年齢が上がるにつれて「とてもそう思う」の割合が大きくなり、『居住継続意向がある（合計）』の割合についても同様の傾向にあるが、女性の場合、『居住継続意向がある（合計）』の割合については男性と同様に年齢が上がるにつれて大きくなる傾向にあるが、「とてもそう思う」の割合については、30～39歳で一旦下がり、その後50～59歳までは大きくなるが、60～69歳以降はまた下がっていく。

図表 新居浜市への居住継続意向(居住歴別/住み心地満足度別/誇り・自慢度別/居住推奨度別)



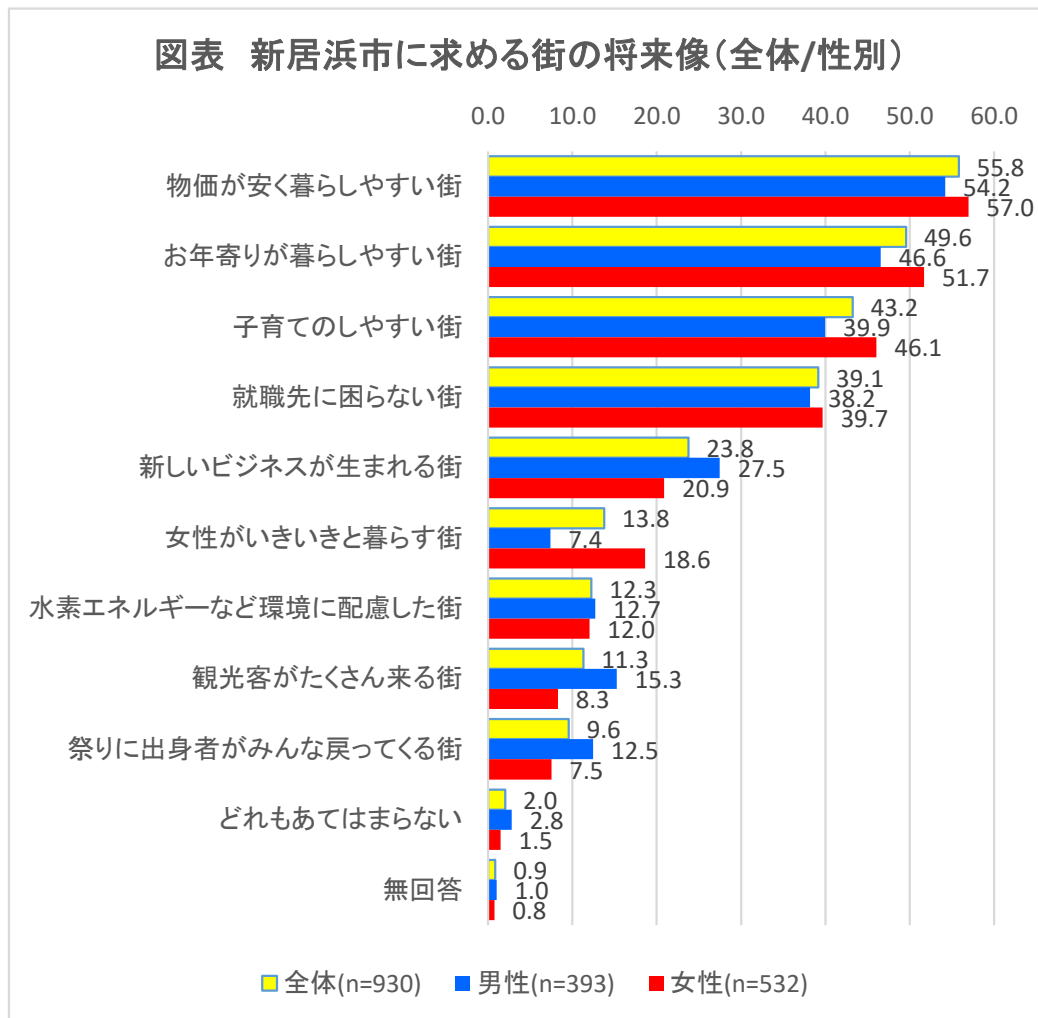
『居住継続意向がある(合

居住歴別にみると、出身者、Uターン、転入者の順に「とてもそう思う」、『居住継続意向がある(合計)』の割合が小さくなり、逆に「あまりそうは思わない」、「そうは思わない」の割合が大きくなる傾向にある。

また、居住継続度は新居浜市の住みごこちへの満足度、新居浜市への誇り・自慢度、新居浜市への居住推奨度とも相関関係がみられる。

8 新居浜市に求める街の将来像

問19. これからの新居浜市はどんな街になったら良いと思いますか？ あなたが共感できるものを3つまでお選びください。（〇は3つまで）



新居浜市に求める街の将来像について、全体で最も多かったのは「物価が安く暮らしやすい街」（55.8%）、次いで「お年寄りが暮らしやすい街」（49.6%）、「子育てのしやすい街」（43.2%）。

性別にみても上位の傾向に大きな差はないが、男女で差が出た項目としては、男性が「新しいビジネスが生まれる街」（27.5%）、「観光客がたくさん来る町」（15.3%）など、産業に関する回答が多いのに対し、女性は「女性がいきいきと暮らす街」（18.6%）などが多かった。

図表 新居浜市に求める街の将来像（性別/年齢別/居住歴別）

		街物価が安く暮らしやすい	街お年寄りが暮らしやすい	子育てのしやすい街	就職先に困らない街	新しいビジネスが生まれる街	女性がいきいきと暮らす街	水素エネルギーなど環境に配慮した街	観光客がたくさん来る街	祭りに出身者がみんな戻ってくる街	どれもあてはまらない
男性 年齢別	男性/19歳以下(n=18)	33.3	16.7	27.8	27.8	22.2	5.6	5.6	33.3	44.4	11.1
	男性/20～29歳(n=24)	66.7	4.2	45.8	8.3	37.5	8.3	4.2	29.2	4.2	12.5
	男性/30～39歳(n=43)	44.2	16.3	65.1	27.9	30.2	9.3	14.0	20.9	20.9	2.3
	男性/40～49歳(n=47)	55.3	17.0	55.3	48.9	40.4	12.8	19.1	14.9	14.9	0.0
	男性/50～59歳(n=56)	53.6	46.4	30.4	53.6	25.0	10.7	7.1	19.6	10.7	1.8
	男性/60～69歳(n=82)	58.5	63.4	42.7	37.8	23.2	6.1	11.0	8.5	8.5	1.2
	男性/70歳以上(n=123)	55.3	69.9	28.5	38.2	24.4	4.1	16.3	10.6	8.9	2.4
女性 年齢別	女性/19歳以下(n=13)	69.2	23.1	69.2	30.8	15.4	15.4	0.0	7.7	30.8	7.7
	女性/20～29歳(n=40)	60.0	17.5	67.5	30.0	30.0	37.5	2.5	7.5	5.0	2.5
	女性/30～39歳(n=57)	43.9	40.4	68.4	36.8	12.3	31.6	8.8	8.8	5.3	3.5
	女性/40～49歳(n=70)	52.9	41.4	55.7	50.0	21.4	21.4	8.6	5.7	1.4	1.4
	女性/50～59歳(n=82)	56.1	51.2	48.8	45.1	25.6	15.9	13.4	13.4	4.9	1.2
	女性/60～69歳(n=95)	57.9	62.1	41.1	42.1	21.1	15.8	10.5	4.2	6.3	0.0
	女性/70歳以上(n=175)	61.1	64.0	29.7	35.4	19.4	12.0	17.7	9.1	11.4	1.1
居住歴別	出身者(n=292)	55.5	51.0	41.8	37.3	21.9	13.7	9.9	12.7	14.4	2.4
	Uターン(n=264)	52.3	44.7	49.6	43.9	28.8	15.5	13.3	10.6	7.2	1.5
	転入者(n=336)	58.9	53.0	40.8	36.3	21.7	13.4	14.0	9.5	7.7	2.1

※網掛けは年齢別で「新居浜市の印象」として回答した割合が40%以上のもの。

赤字は各項目で「男性 年齢別」、「女性 年齢別」、「居住歴別」で最も割合が高いもの。

年齢別にみると、ほぼ全ての年代で「物価が安く暮らしやすい街」と答えた割合が高い。一方、「お年寄りが暮らしやすい街」は高年層で、「子育てのしやすい街」は若年層で割合が高くなっている。

また、「就職に困らない街」は男性40～59歳、女性40～69歳で高くなっており、若年層よりも都市部で進学、就職した子どもにUターンで帰ってきてほしい親世代の割合が高くなっているものと思われる。

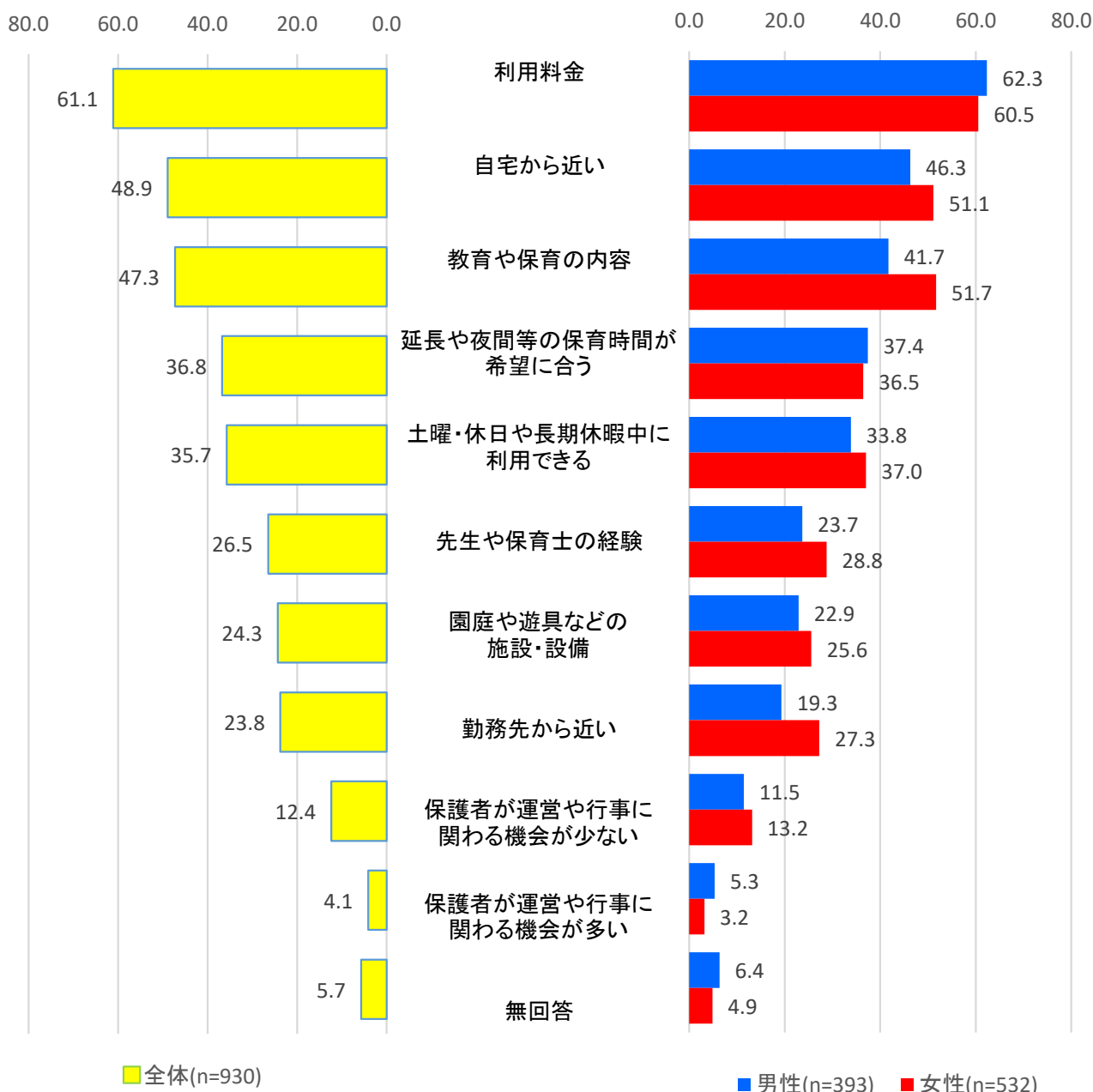
居住歴別にみると、「物価が安く暮らしやすい街」、「お年寄りが暮らしやすい街」と答えたのは転入者に多く、「子育てのしやすい街」、「就職に困らない街」と答えたのはUターンに多い。

② 子育て支援に関するアンケート

1 子育て支援施設や預かり保育の重視する点

問20. 子育て支援施設や預かり保育などの事業を利用すると想定した場合、どのような点を重視しますか？（○はいくつでも）

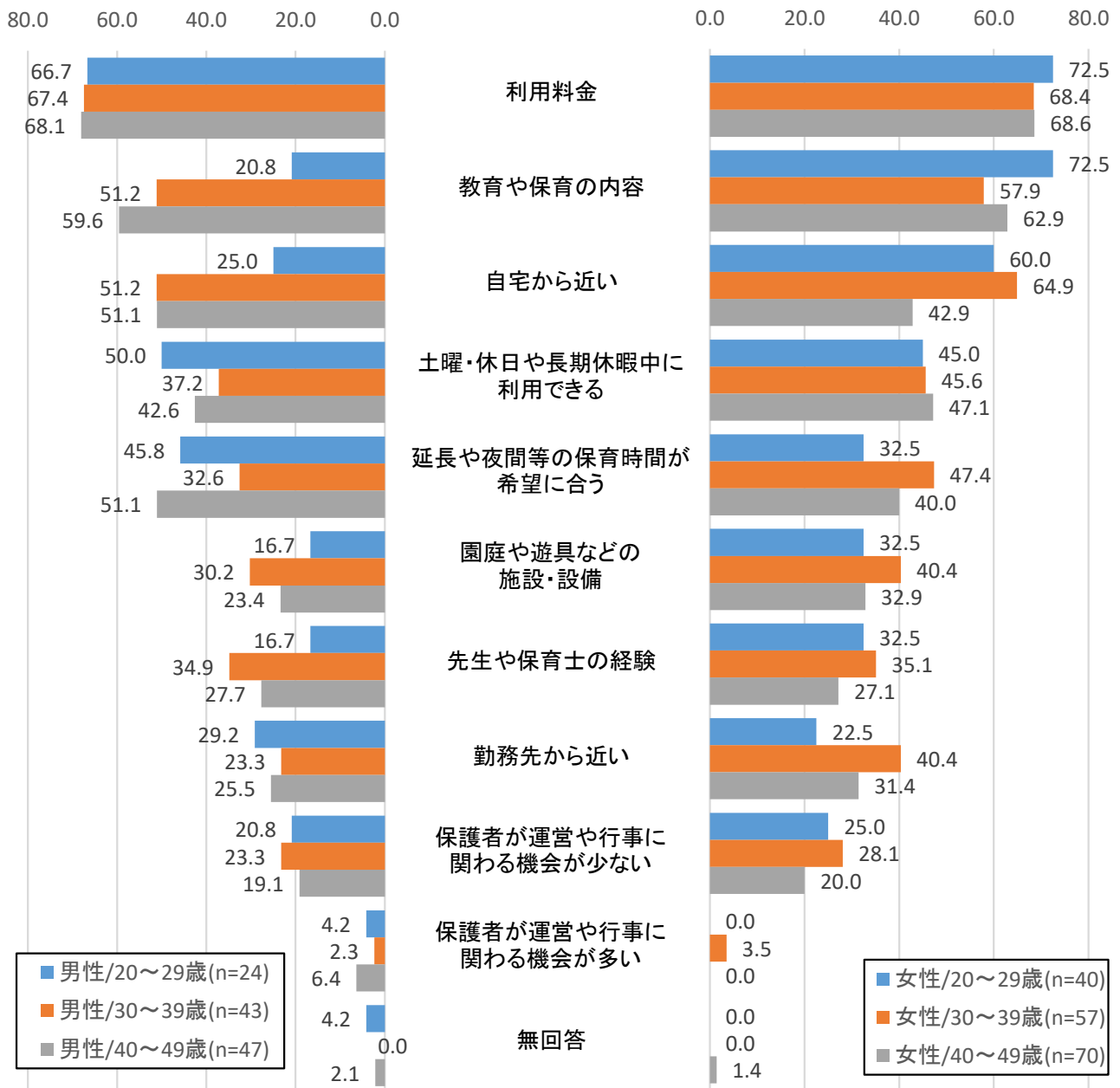
図表 子育て支援施設や預かり保育の重視する点（全体/性別）



子育て支援施設や預かり保育の重視する点について、全体では「利用料金」(61.1%)が最も高く、次いで「自宅から近い」(48.9%)、「教育や保育の内容」(47.3%)となっている。

性別にみると、大きな傾向に差はないものの、女性の場合「教育や保育の内容」(51.7%)が「自宅から近い」(51.1%)をわずかに上回っている。

図表 子育て支援施設や預かり保育の重視する点（性別/年齢別）



20～49歳に限定し、性別、年齢別で見ると、最も重視されているのは「利用料金」で、性別、年齢別問わず多い。

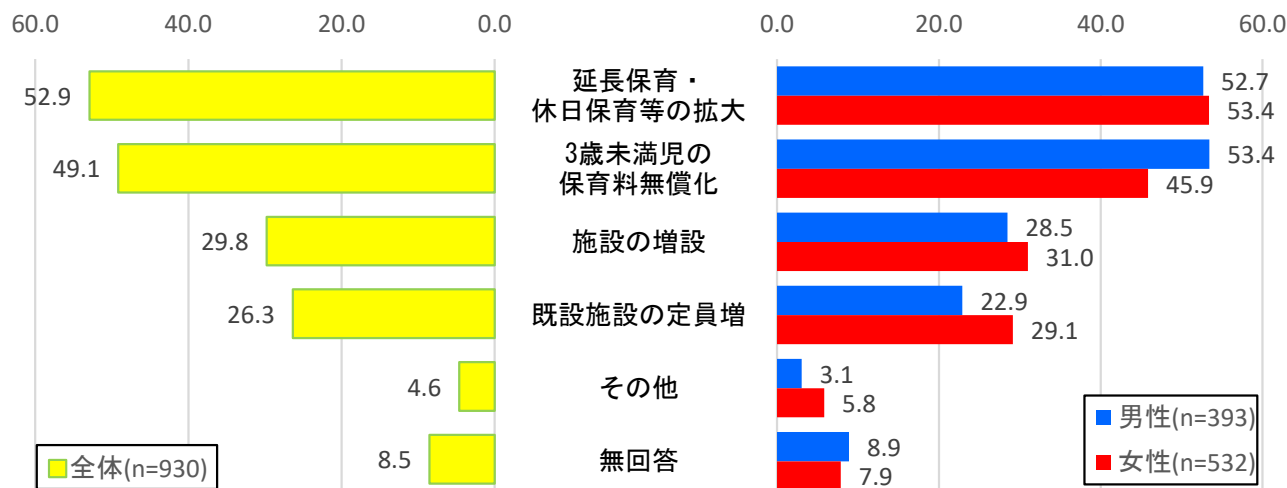
次いで「教育や保育の内容」、「自宅から近い」が20～49歳全体では重視されているが、男性20～29歳においてはこれらの項目は重視されておらず、「土曜・休日や長期休暇中に利用できる」（50.0%）や「延長や夜間等の保育時間が希望に合う」（45.8%）が重視されている。

これ以外では、男性の場合「園庭や遊具などの施設・設備」や「先生や保育士の経験」において20～29歳と30～39歳で差がみられる。また、女性の場合「自宅から近い」において30～39歳と40～49歳で差がみられ、さらに、「延長や夜間等の保育時間が希望に合う」や「勤務先に近い」において20～29歳と30～39歳で差がみられる。

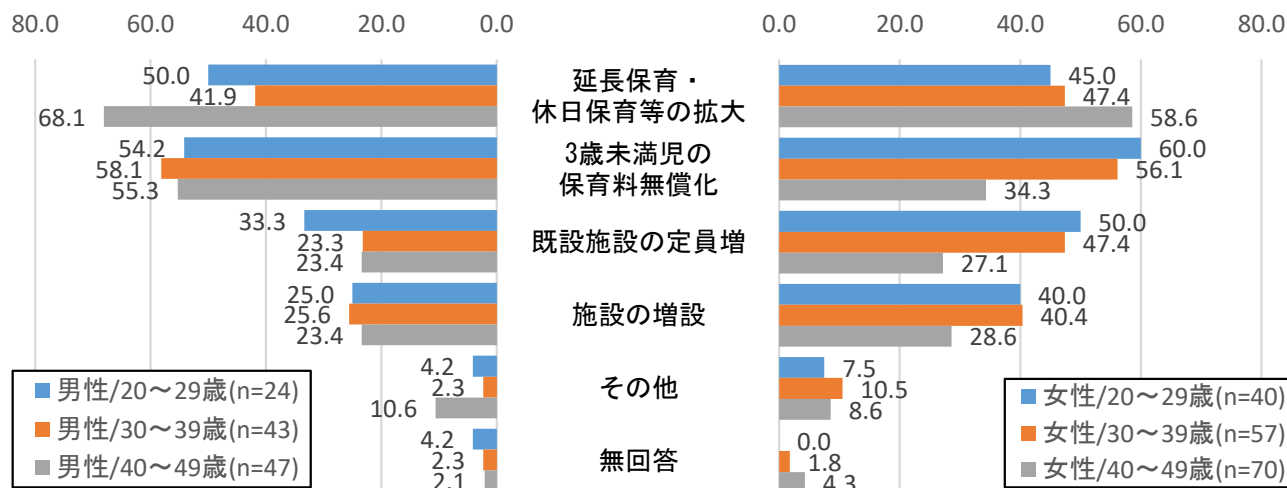
2 保育所に関する少子化対策

問21. 保育所に関して少子化対策に有効と思うことはなんですか？（〇はいくつでも）

図表 保育所に関する少子化対策（全体/性別）



図表 保育所に関する少子化対策（性別/年齢別）



保育所に関して少子化対策で有効と思うことについて、全体で最も多かったのは「延長保育・休日保育等の拡大」（52.9%）で、次いで「3歳未満児の保育料無償化」（49.1%）、「施設の増設」（29.8%）と続く。

性別にみると、男性の場合「3歳未満児の保育料無償化」（53.4%）が「延長保育・休日保育等の拡大」（52.7%）をわずかに上回る。

20～49歳に限定し、性別、年齢別でみると、全体では4位だった「既存施設の定員増」が全体で3位だった「施設の増設」を上回る。

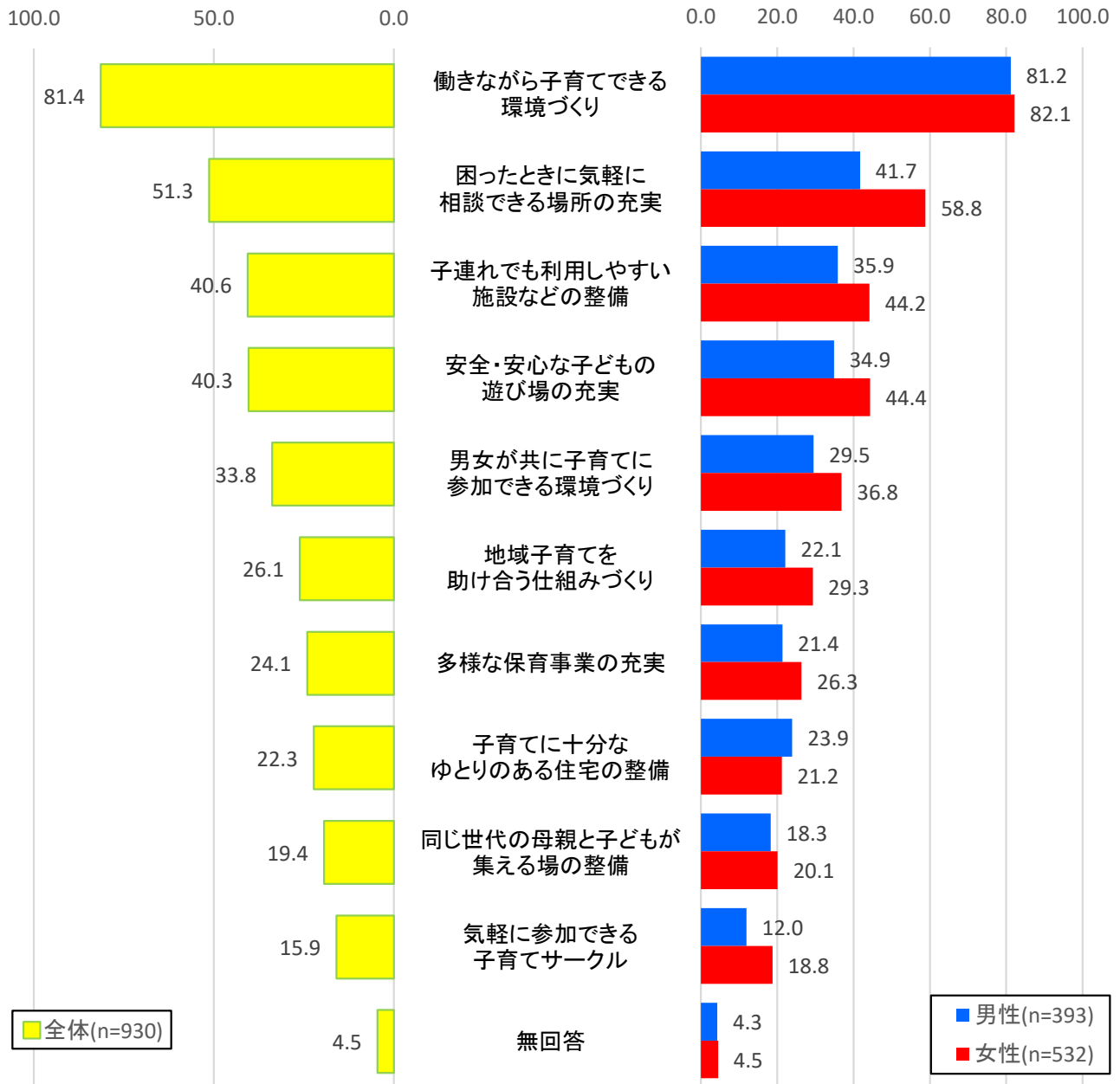
また、男女とも40～49歳で「延長保育・休日保育等の拡大」が多く、「3歳未満児の保育料無償化」や「既存施設の定員増」は、女性40～49歳で少なかった。

「その他」の自由記述については、「保育士の増員と待遇改善」が最も多かった。それ以外では、保育所同士の連携や先進事例を参考にした保育の質の向上、入所条件の緩和、公立幼稚園の3年制化、早朝保育や夕食ありの保育、病児後保育の充実などがあつた。

3 子育てしやすい社会に向けた支援策

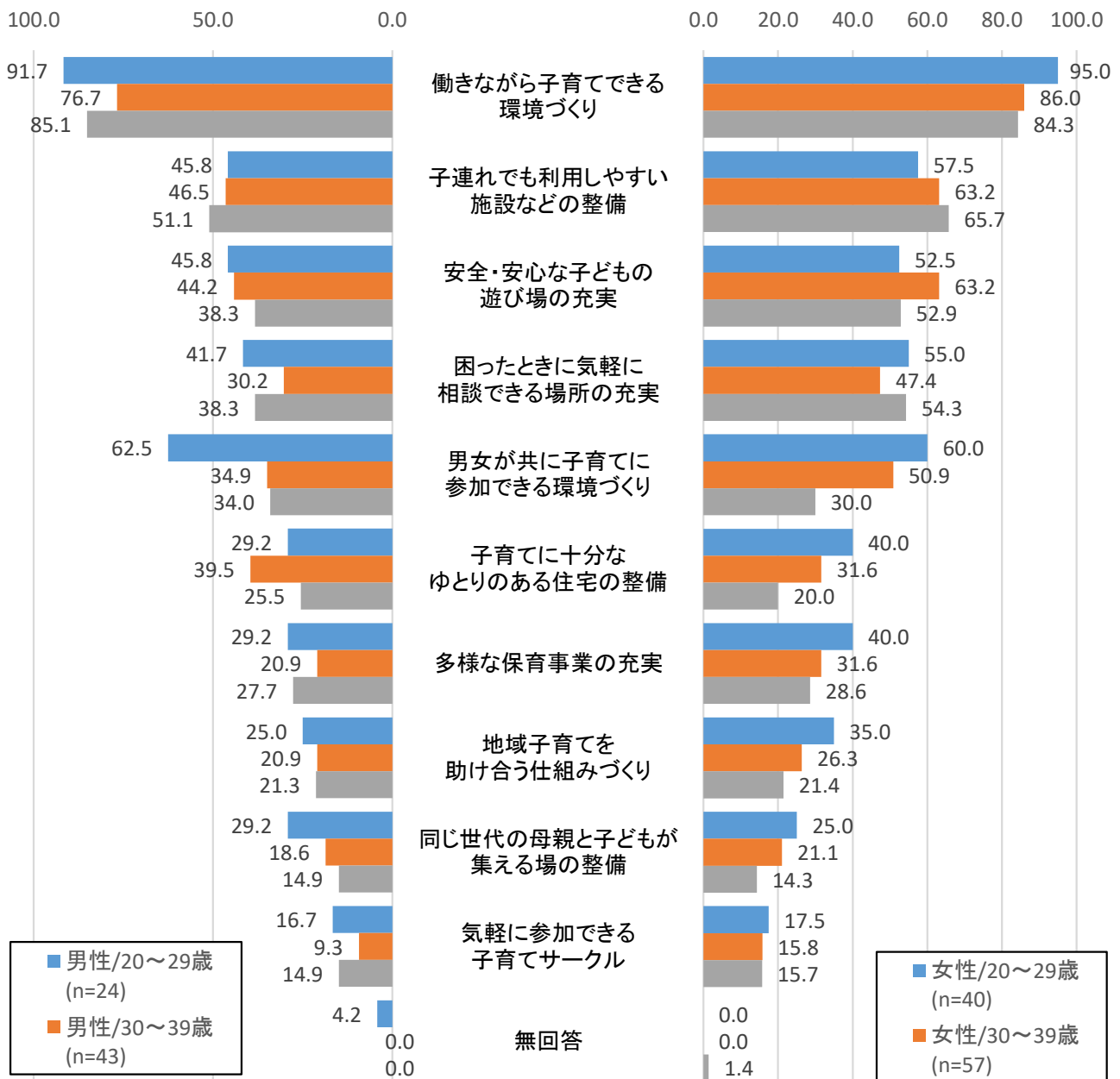
問22. 子育てしやすい社会にするためには、どのような支援策が必要だと思いますか？
 (〇はいくつでも)

図表 子育てしやすい社会に向けた支援策（全体/性別）



子育てしやすい社会に向けた支援策について、全体で最も多いのは「働きながら子育てできる環境づくり」（81.4%）、次いで「困ったときに気軽に相談できる場所の充実」（51.3%）、「子連れでも利用しやすい施設などの整備」（40.6%）と続く。
 性別にみてもこの順位は同じだが、全体で8位の「子育てに十分なゆとりのある住宅の整備」（22.3%）が男性では6位（23.9%）になっている。また、この質問は複数回答方式であるが、全体的に男性よりも女性の方が必要だと考える支援策が多い。

図表 子育てしやすい社会に向けた支援策（性別/年齢別）



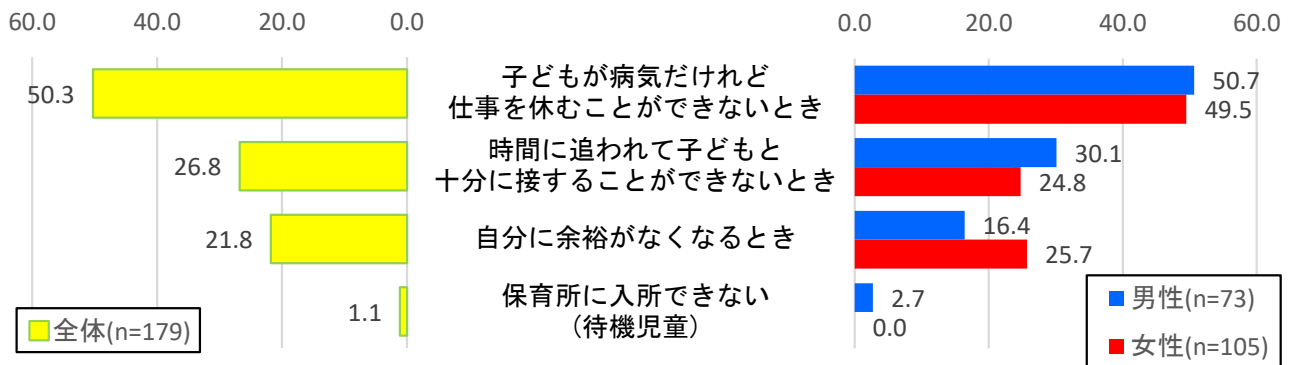
20～49歳に限定し、性別、年齢別でみると、最も多かったのは「働きながら子育てできる環境づくり」で変わらないが、次いで「子連れでも利用しやすい施設などの整備」、「安全・安心な子どもの遊び場の充実」になっており、全体では2位だった「困ったときに気軽に相談できる場所の充実」は4位まで落ちている。

また、「男女が共に子育てに参加できる環境づくり」については、男性全体では29.5%、女性全体では36.8%だったが、男性20～29歳では62.5%、女性20～29歳では60.0%となっており、若い世代における男女での子育て参加意識の高まりが感じられる。

4 仕事と子育ての両立の障害

問23. 働きながら子育てをしている方に伺います。仕事と子育ての両立が難しいと感じるのはどのような時ですか？（○は1つだけ）

図表 仕事と子育ての両立が難しいと感じる時（全体/性別）



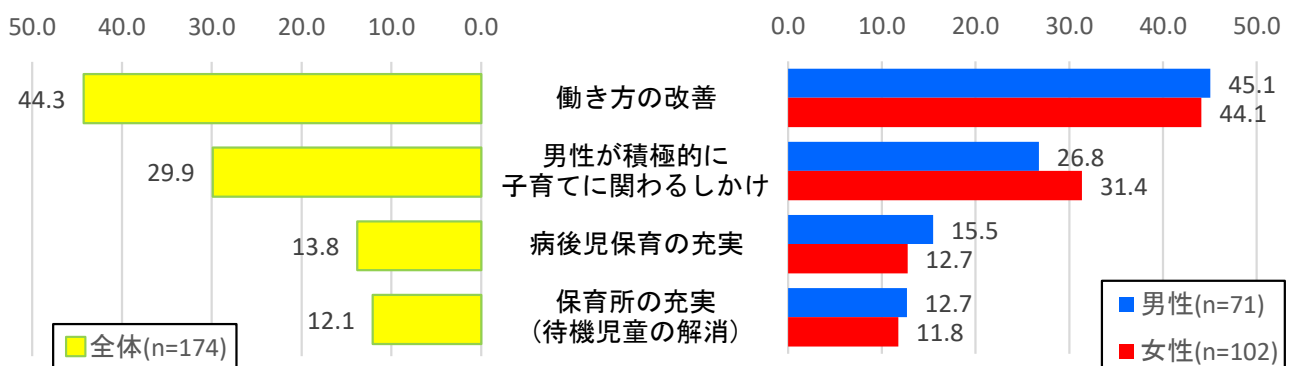
仕事と子育ての両立が難しいと感じるとき、全体で最も多いのは「子どもが病気だけれど仕事を休むことができないとき」（50.3%）、次いで「時間に追われて子どもと十分に接することができないとき」（26.8%）、「自分に余裕がなくなるとき」（21.8%）となっている。

性別にみると、女性では「自分に余裕がなくなるとき」（25.7%）が2位となっており、仕事と子育ての両立について女性の方がより難しさを感じていると思われる。

5 両立に向けた方策

問24. 働きながら子育てをしている方に伺います。うまく両立できるためにはどのような方策が必要だと思えますか？（○は1つだけ）

図表 両立に向けた方策（全体/性別）



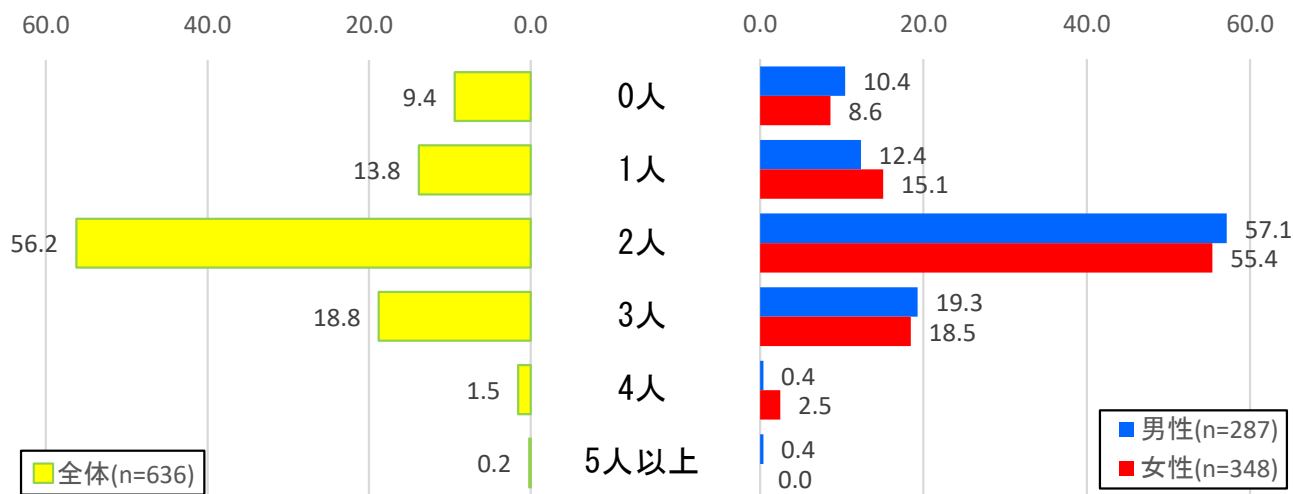
仕事と子育ての両立に向けた施策について、全体で最も多いのは「働き方の改善」（44.3%）で、次いで「男性が積極的に子育てに関わるしかけ」（29.9%）、「病後児保育の充実」（13.8%）と続く。

性別でも傾向に大きな差はないが、「男性が積極的に子育てに関わるしかけ」については男性がやや低く、男性側に未だ意識の低さがみられる。

6 現在の子どもの数

問25. 結婚している方に伺います。現在のお子様の人数を教えてください。
(○は1つだけ)

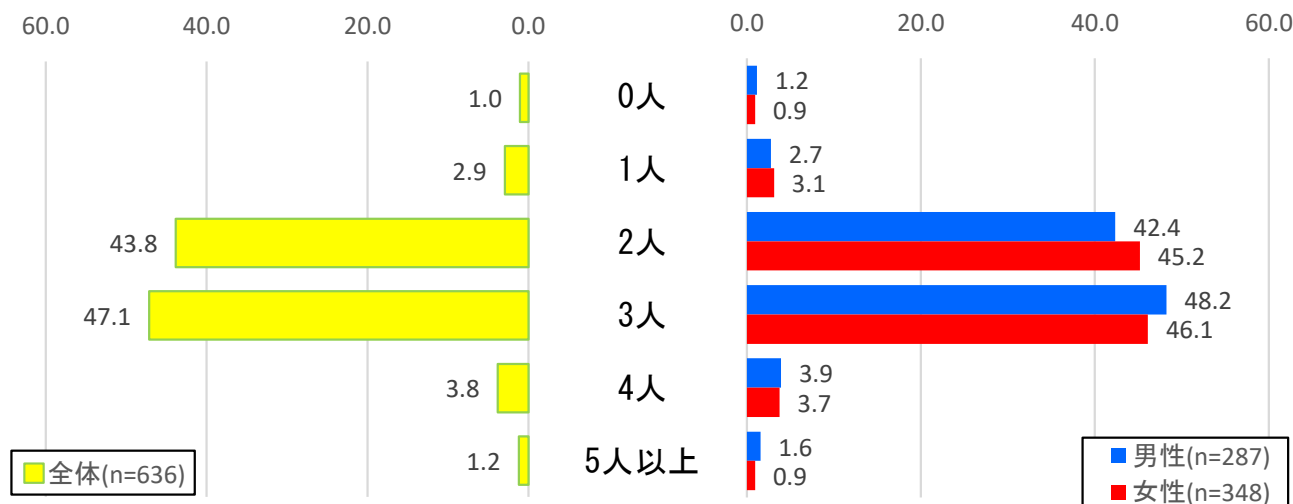
図表 現在の子どもの数（全体/性別）



7 理想の子どもの数

問26. 結婚している方に伺います。理想のお子様の人数を教えてください。
(○は1つだけ)

図表 理想の子どもの数（全体/性別）



現実の子どもの数で最も多いのは「2人」（56.2%）、次いで「3人」（18.8%）。
対して、理想の子どもの数で最も多いのは「3人」（47.1%）、次いで「2人」（43.8%）となっている。

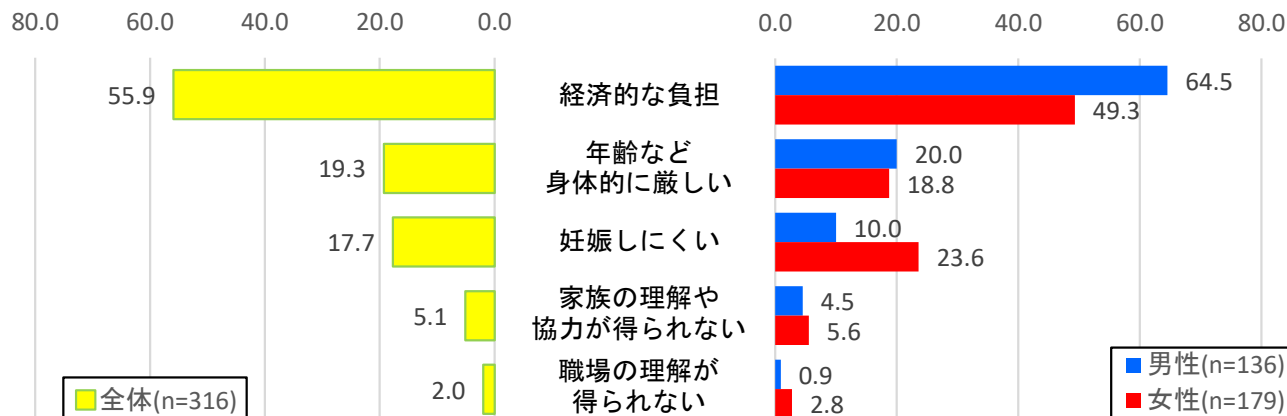
性別でもみてもこの傾向に大きな差はない。

平均では現実の子どもの数は1.90人、理想の子どもの数は2.53人で、もう1人子供が欲しいと思いながらも、実現できていない人が多いと思われる。

8 理想より子供が少ない理由

問27. お子様的人数が理想よりも少ない方に伺います。理由を教えてください。
(○は1つだけ)

図表 理想より子どもが少ない理由 (全体/性別)

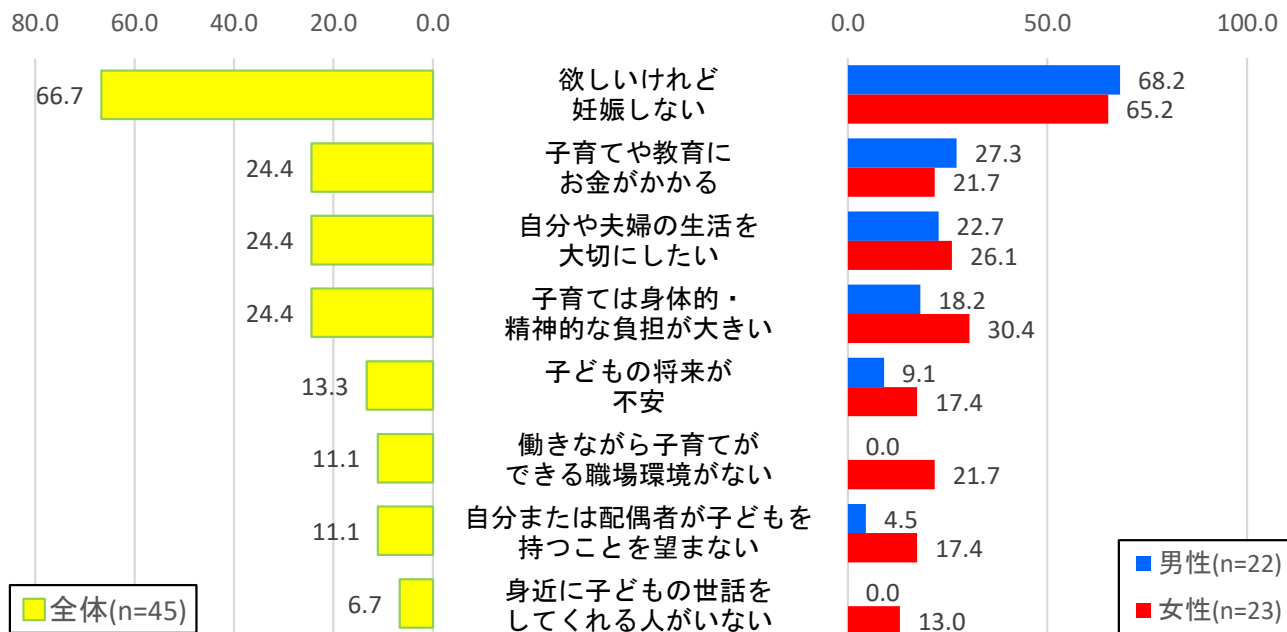


理想より子供が少ない理由について、最も多いのが「経済的な理由」(55.9%)、次いで「年齢など身体的に厳しい」(19.3%)、「妊娠しにくい」(17.7%)の順。性別にみると、「経済的な負担」と答えたのは男性が多く、「妊娠しにくい」と答えたのは女性が多い。

9 子供がいない理由

問28. 結婚しているが子どもがいない方に伺います。子どもがいない理由を教えてください。(○はいくつでも)

図表 子どもがいない理由 (全体/性別)

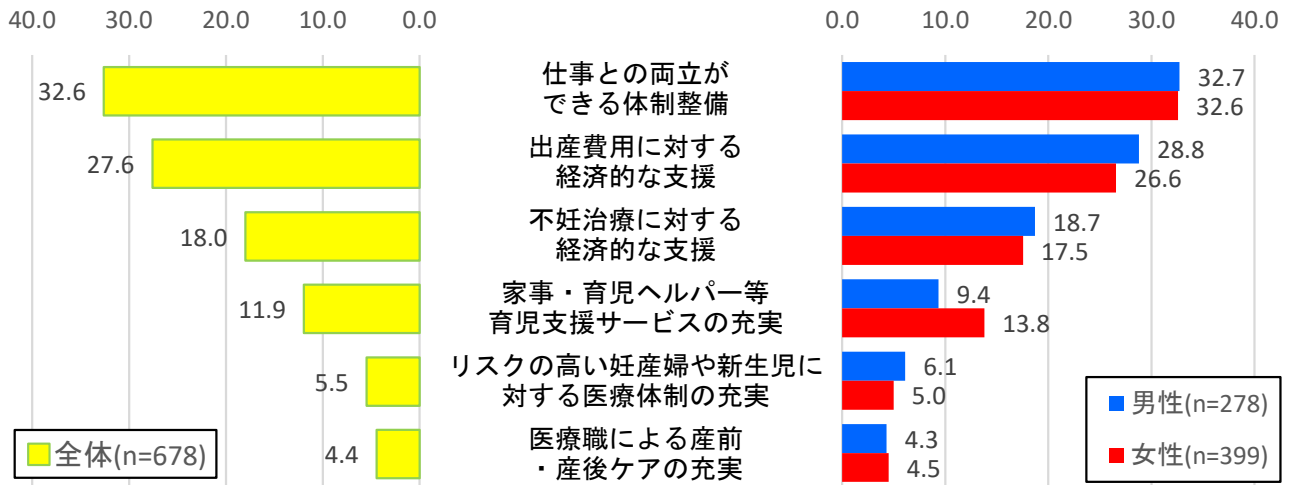


子どもがいない理由で最も多いのが「欲しいけれど妊娠しない」(66.7%)、次いで「子育てや教育にお金がかかる」(24.4%)、「自分や夫婦の生活を大切にしたい」(24.4%)、「子育ては身体的・精神的な負担が大きい」(24.4%)と続く。性別にみてもこの傾向に大きな差はない。

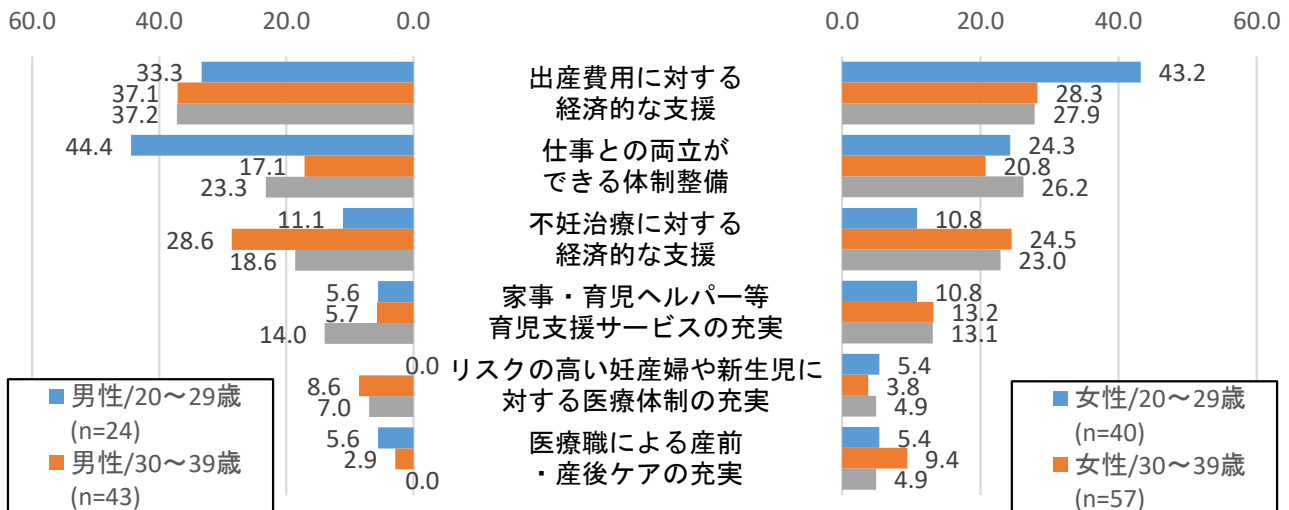
10 妊娠・出産時に求める支援

問29. 妊娠・出産時の支援について求めるものを教えてください。（○は1つだけ）

図表 妊娠・出産時に求める支援（全体/性別）



図表 妊娠・出産時に求める支援（性別/年齢別）



妊娠・出産時に求める支援について、全体で最も多いのは「仕事との両立ができる体制整備」（32.6%）、次いで「出産費用に対する経済的な支援」（27.6%）、「不妊治療に対する経済的な支援」（18.0%）となっている。

性別にみてもこの傾向に大きな差はないが、「家事・育児ヘルパー等育児支援サービスの充実」と答えたのは女性が多かった。

20～49歳に限定し、性別、年齢別でみると、最も多かったのは「出産費用に対する経済的な支援」で、特に女性20～29歳に多い。

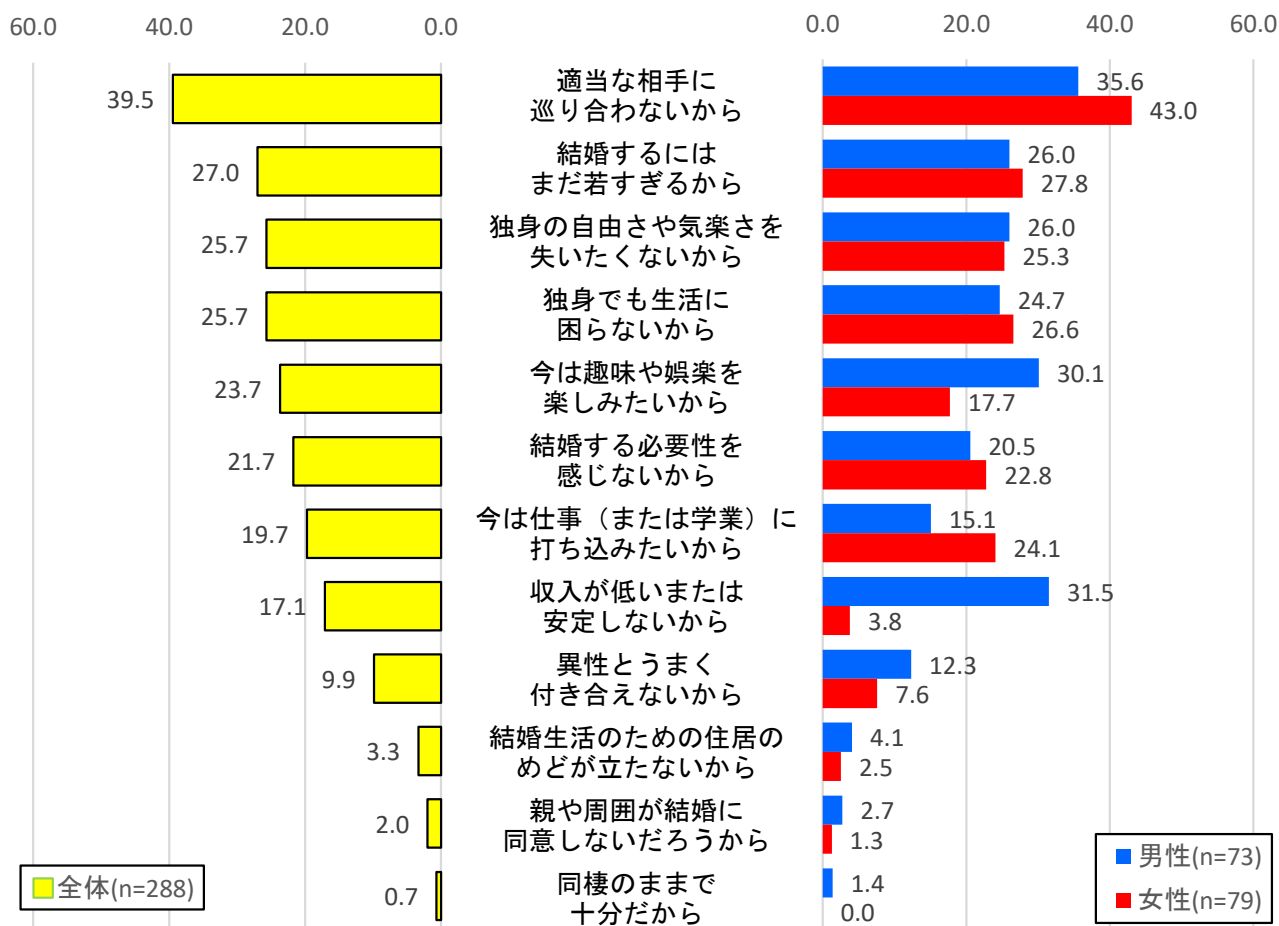
次いで「仕事との両立ができる体制整備」で、特に男性20～29歳に多い。

3位は「不妊治療に対する経済的な支援」で、男女とも30～39歳に多い。

11 独身でいる理由

問30. 独身の方に伺います。独身でいる理由を教えてください。（〇はいくつでも）

図表 独身でいる理由（全体/性別）



独身でいる理由で最も多いのは「適当な相手に巡り合わないから」（39.5%）、次いで「結婚するにはまだ若すぎるから」（27.0%）、「独身の自由さや気楽さを失いたくないから」（25.7%）、「独身でも生活に困らないから」（25.7%）の順。

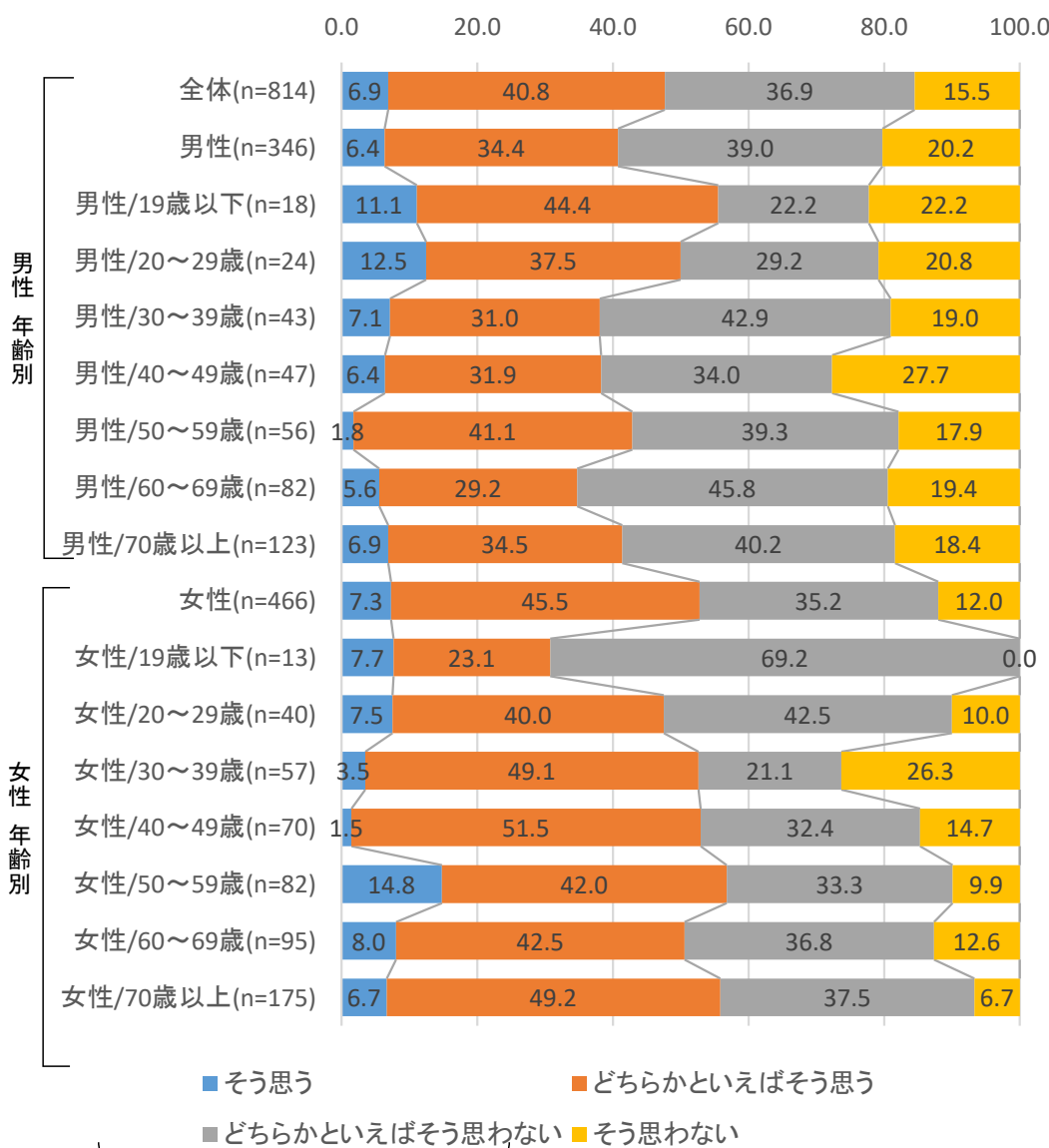
性別では、全体で8位の「収入が低いまたは安定しないから」が男性では2位まで上昇する。男性にとっては経済的な事情が結婚に及ぼす影響が大きいと思われる。

女性においては、「適当な相手に巡り合わないから」、「今は仕事（または学業）に打ち込みたいから」と答えた割合が男性よりも多く、女性の社会進出など、社会的な状況の変化により結婚の優先度が下がっていることも一因と思われる。

12 結婚、妊娠、子ども・子育てに温かい社会の実現

問31. 結婚、妊娠、子供・子育てに温かい社会の実現に向かっていていると思いますか？
(○は1つだけ)

図表 結婚、妊娠、子ども・子育てに温かい社会の実現
(全体/性別/年齢別)



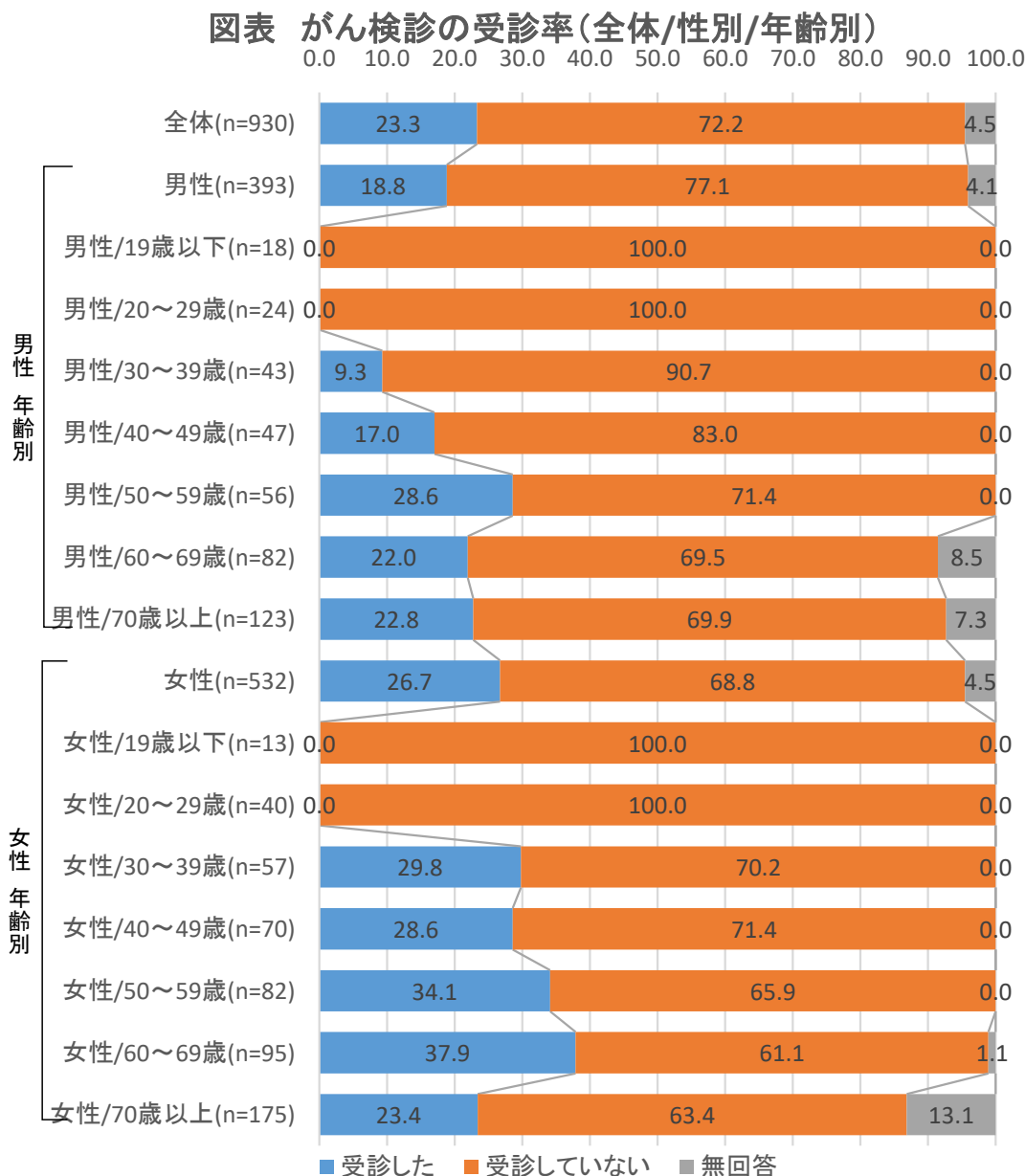
『向かっている(合計)』

国の第2期「まち・ひと・しごと総合戦略」のKPIとして設定されている「結婚、妊娠、子供・子育てに温かい社会の実現に向かっていていると考える人の割合」について、全体では「そう思う」（6.9%）、「どちらかといえばそう思う」（40.8%）、合わせて『向かっている（合計）』（47.7%）だった。

参考に、2019年に内閣府が実施したインターネットによる意識調査では45.2%であったことから、やや高い結果が出ている。国の目標値は2024年に50%であることから、今後も継続して取り組んでいく必要がある。

13 がん検診の受診

問32. あなたは、今年度にごがん検診を受診されましたか？（○は1つだけ）



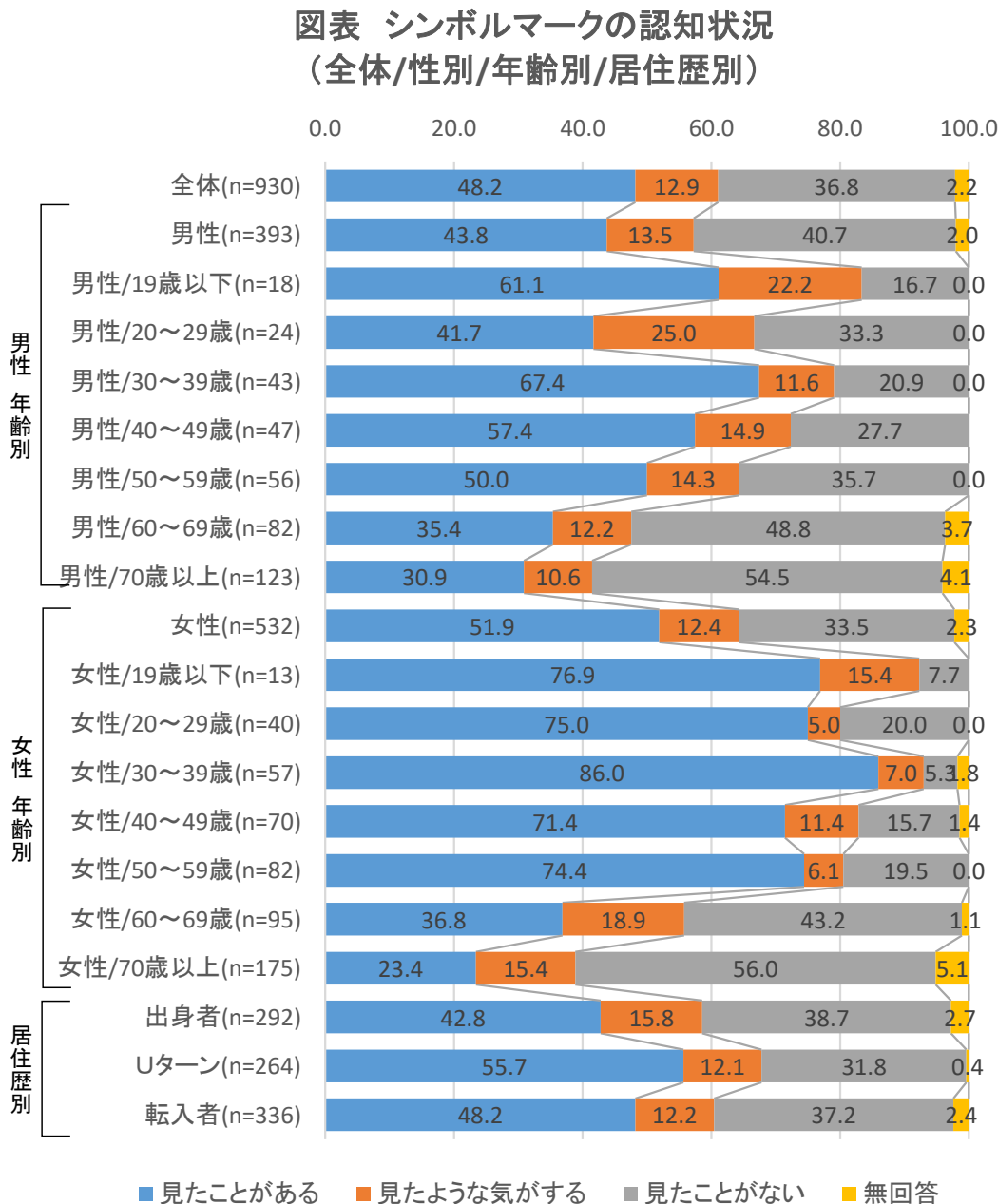
がん検診の受診の有無について、全体では23.3%。性別では男性が18.8%、女性が26.7%で女性の受診率が高い。

年齢別でみると、男女とも19歳以下、20～29歳は0%で、その後、年齢が上がるにつれて上昇し、男性は50～59歳、女性は60～69歳がピークで、以後はまた下がる傾向にある。

③ シティブランディング事業について

1 シンボルマークの認知状況

問33. あなたは、次のシンボルマークを見たことがありますか？（○は1つだけ）



シンボルマークの認知状況について、全体では「見たことがある」が48.2%で最も多く、約半数の方に認知されている。

性別では、男性43.8%、女性51.9%で、女性の認知度がより高い。

年齢別にみると、男女とも若い世代の認知度が高く、高齢層の認知度が低い傾向にあるが、男性が30～39歳をピークに下がっていくのに対し、女性は50～59歳まで高い認知度を維持している。

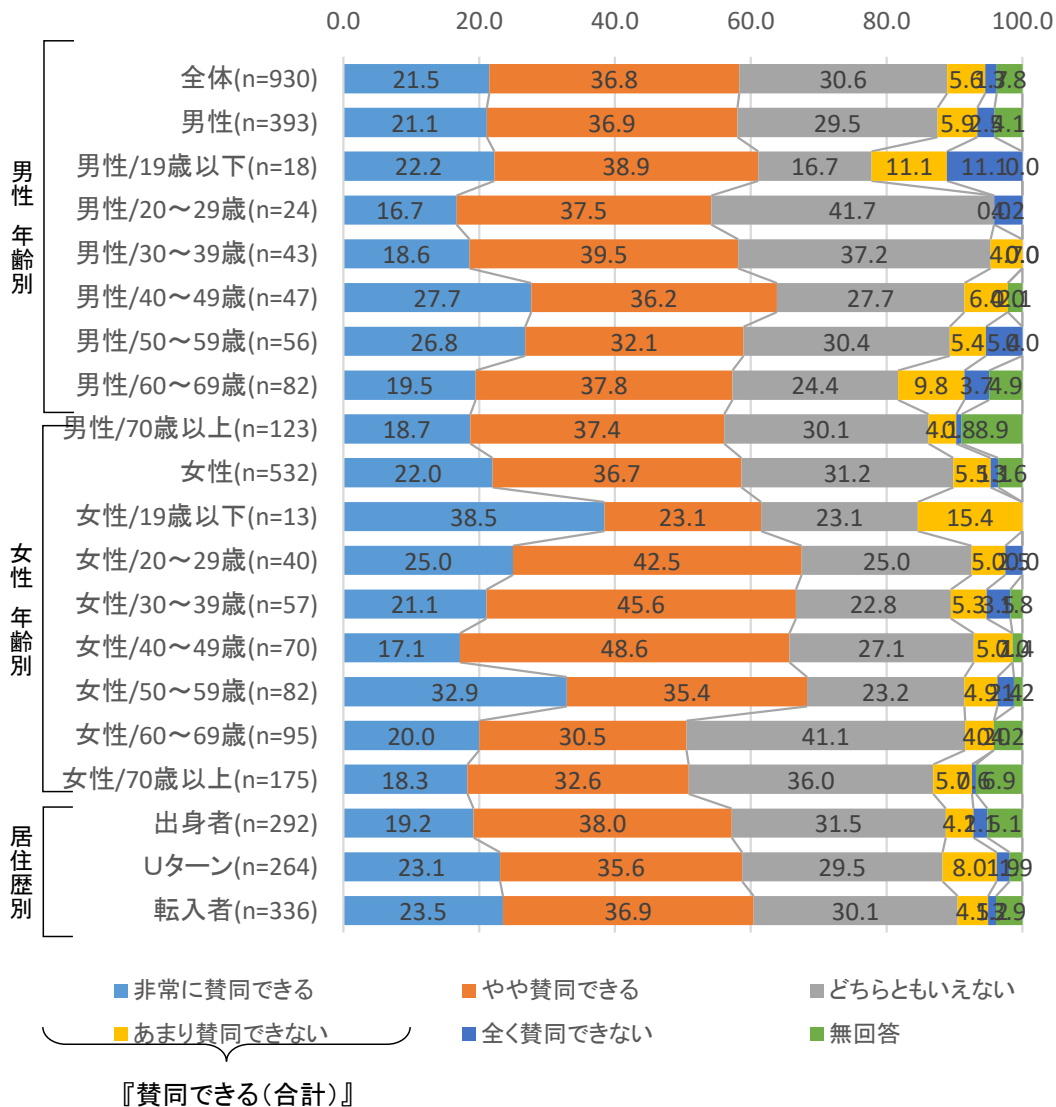
また、男性20～29歳では「見たことがある」の割合が一旦下がっている。

居住歴別では、Uターンが55.7%と最も高く、次いで転入者が48.2%、出身者は42.8%で最も低い。

2 シンボルマークの意味に対する賛同意識

問34. このシンボルマークは、「みんなが主役になり、みんなに愛される、みんなが誇れる新しい新居浜市をつくっていく活動」のスローガンとなるものですが、あなたはどの程度賛同できますか？（○は1つだけ）

図表 シンボルマークの意味に対する賛同意識
(全体/性別/年齢別/居住歴別)



シンボルマークの意味に対する賛同意識について、全体では「非常に賛同できる」が21.5%、「やや賛同できる」が36.8%、合わせて『賛同できる（合計）』58.3%となっている。

性別でも、この傾向に大きな差はない。

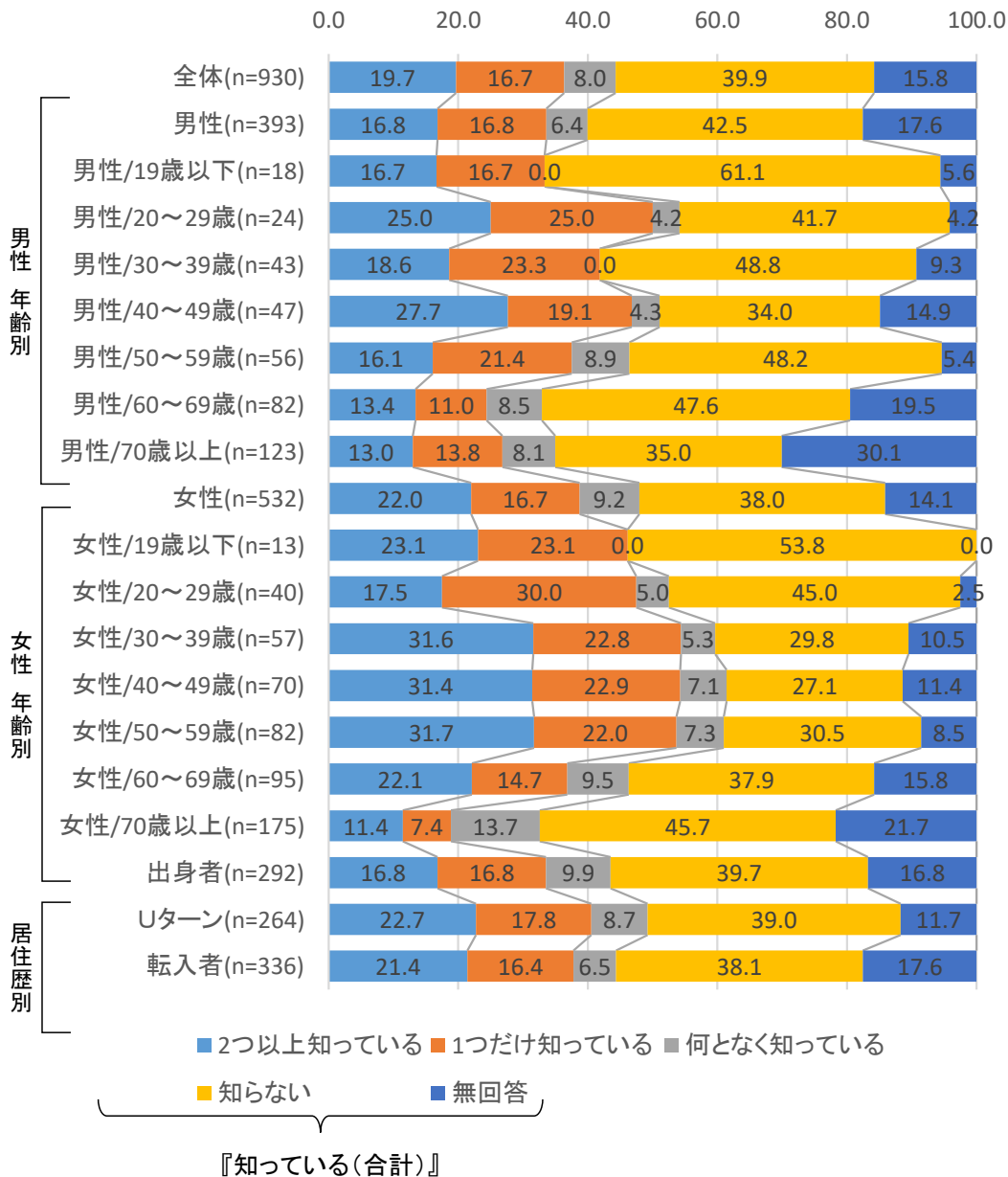
年齢別にみると、男性では20～29歳で『賛同できる（合計）』の割合が下がっていること、女性では50～59歳までは高い賛同意識を維持し、60～69歳で下がることなど、シンボルマークの認知状況と近い動きをしている。

居住歴別では、『賛同できる（合計）』の割合は転入者が60.4%で最も高く、次いでUターンが58.7%、出身者が57.2%となっている。

3 シティブランド活動の認知状況

問35. あなたは、以下のシティブランド活動を知っていますか？知っているものをすべてお選びください。（〇はいくつでも）

図表 シティブランド活動の認知状況
(全体/性別/年齢別/居住歴別)



シティブランド活動の認知状況について、全体では「2つ以上知っている」が19.7%、「1つだけ知っている」が16.7%、合わせて『知っている(合計)』36.4%となっている。

性別で見ると、『知っている(合計)』の割合は男性で33.6%、女性で38.7%と、やや女性の方が高い。

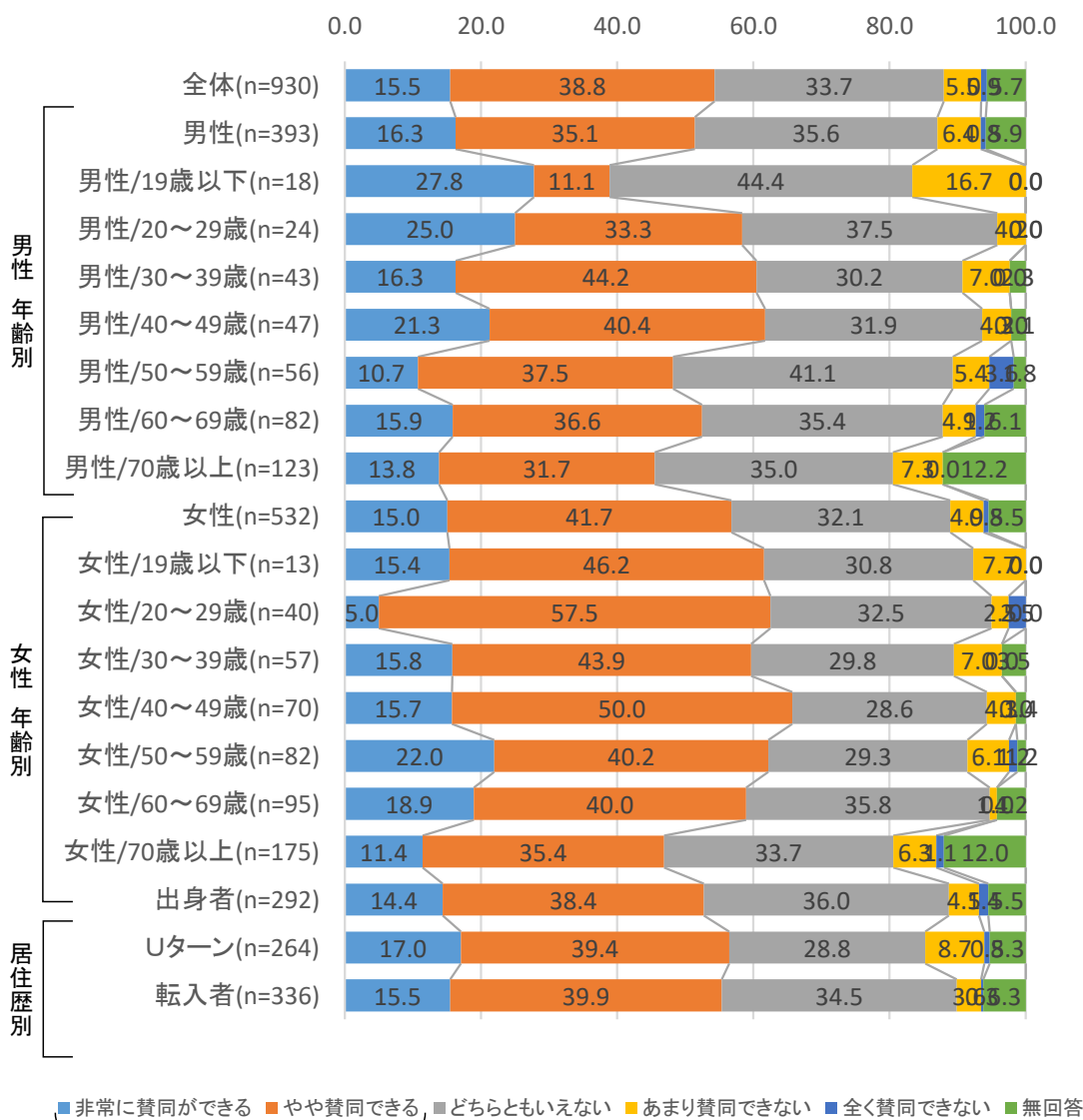
年齢別にみると、男女とも20～59歳では認知度が高いが60歳以上では大きく下がる傾向にある。

居住歴別では、Uターンが40.5%で最も高く、次いで転入者が37.8%、出身者が

4 シティブランド活動への賛同意識

問36. 上記のようなシティブランド活動や取組にあなたはどの程度賛同できますか？
(○は1つだけ)

図表 シティブランド活動への賛同意識
(全体/性別/年齢別/居住歴別)



『賛同できる(合計)』

シティブランド活動への賛同意識について、全体では「非常に賛同できる」が15.5%、「やや賛同できる」が38.8%、合わせて『賛同できる(合計)』54.3%となっている。

性別で見ると、『賛同できる(合計)』の割合が男性では51.4%に対し、女性では56.7%で、女性の方がやや高い。

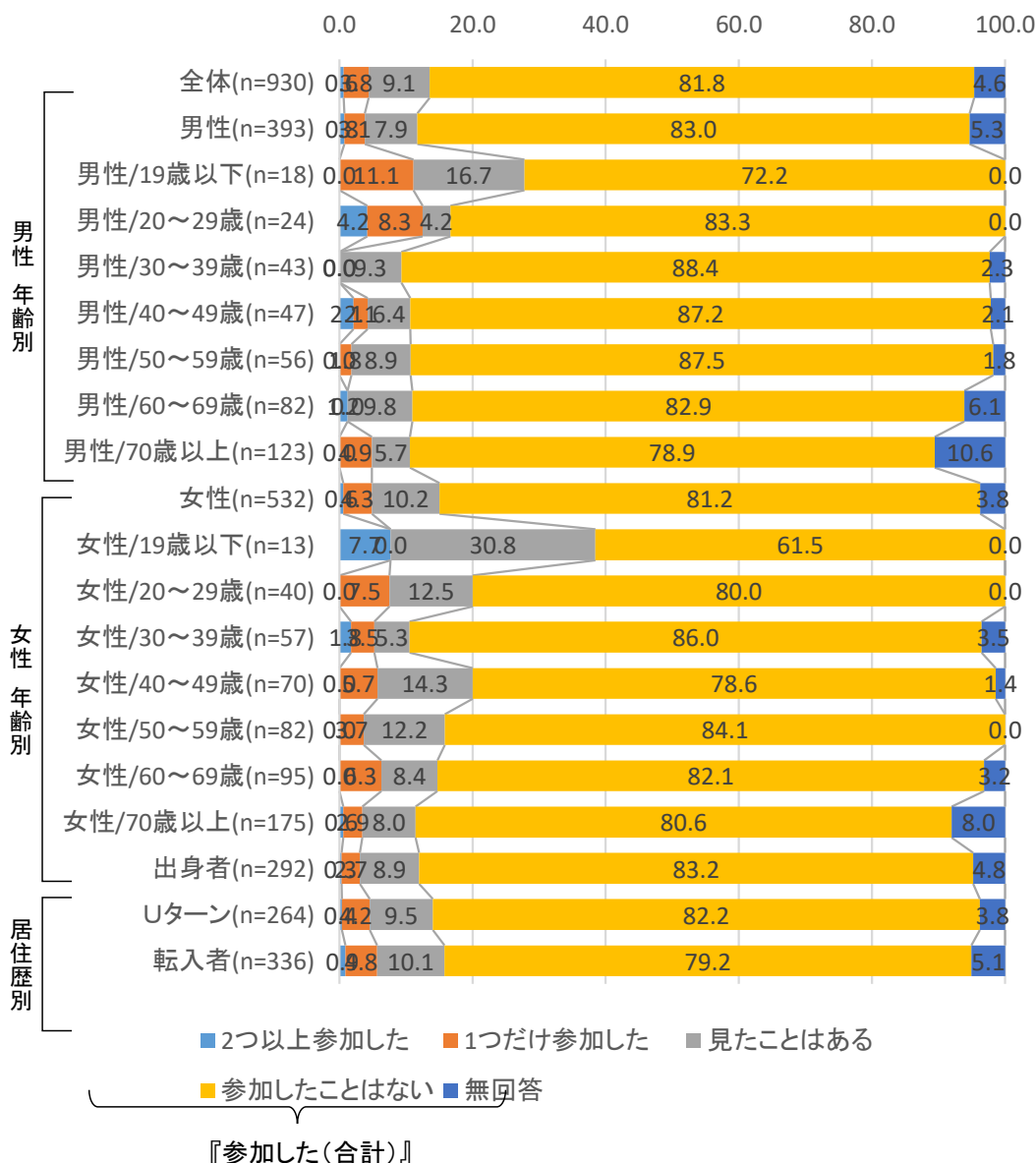
年齢別にみると、男性では『賛同できる(合計)』と答えた人の割合が高いのは20～49歳なのに対し、女性では70歳以上を除いたほぼ全ての年代で『賛同できる(合計)』と答えた割合が高く、女性の方が幅広い年代で賛同している。

居住歴別では、『賛同できる(合計)』の割合はUターンが56.4%で最も高く、次いで転入者が55.4%、出身者が52.8%となっている。

5 シティブランド活動への参加状況

問37. 上記のようなシティブランド活動や取組に参加したことはありますか？
(○は1つだけ)

図表 シティブランド活動への参加状況
(全体/性別/年齢別/居住歴別)



シティブランド活動への参加状況について、全体では「2つ以上参加した」が0.6%、「1つだけ参加した」が3.8%、合わせて『参加した(合計)』が4.4%となっている。

性別では、『参加した(合計)』の割合が男性は3.9%、女性では4.9%となっており、女性の方がわずかに高い。

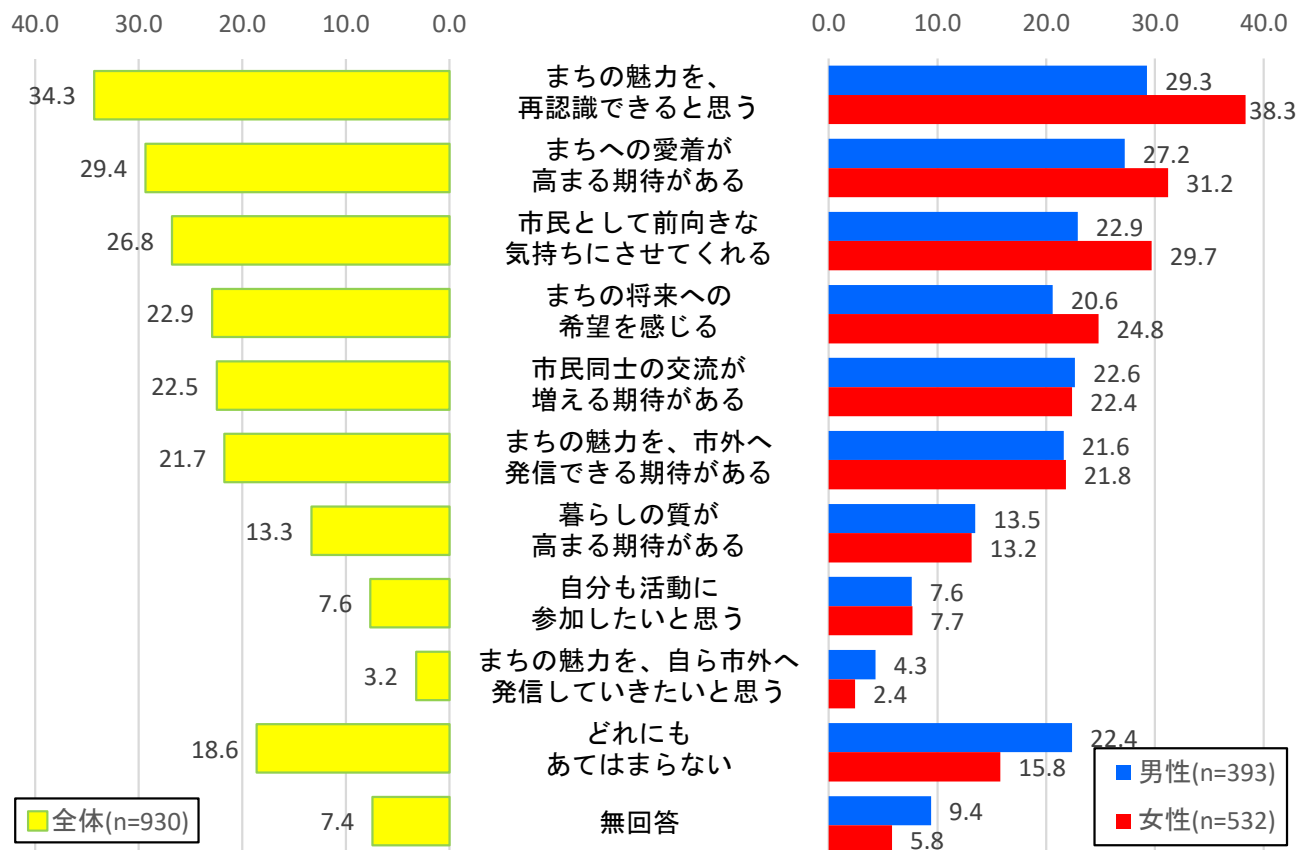
年齢別では、男性では29歳までの若い世代に『参加した(合計)』が集中しているのに対し、女性では全ての年代に一定程度存在している。また、男女とも、19歳以下は参加してはいるが「見たことがある」と答えた割合が高い。

居住歴別では、『参加した(合計)』の割合は転入者が5.7%と最も高く、次いでUターンが4.6%、出身者が3.0%となっている。

6 シティブランド活動への期待

問38. シティブランド活動、Hello! NEW 新居浜のさまざまな取組の結果として、あなたの今の気持ちに当てはまるものをすべてお選びください。（〇はいくつでも）

図表 シティブランド活動への期待（全体/性別）



シティブランド活動への期待について、全体では「まちの魅力を再認識できると思う」（34.3%）が最も多く、次いで「まちへの愛着が高まる期待がある」（29.4%）、「市民として前向きな気持ちにさせてくれる」（26.8%）と続く。

性別にみてもこの傾向に大きな差はないが、上位の項目については女性の方が「今の気持ちにあてはまる」として選択した項目が多く、一方、男性の場合、「どれにも当てはまらない」（22.4%）が4位になるなど、女性の方がシティブランド活動への期待が高いと思われる。

図表 シティブランド活動への期待（性別/年齢別/居住歴別）【複数回答】

		とまちの魅力を、再認識できる	まちへの愛着が高まる期待がある	市民として前向きな気持ちにさせてくれる	まちの将来への希望を感じる	市民同士の交流が増える期待がある	まちの魅力がある、市外へ発信でき	暮らしの質が高まる期待がある	自分も活動に参加したいと思う	まちの魅力を、自ら市外へ発信していきたいと思う	どれにもあてはまらない
男性 年齢別	男性/19歳以下(n=18)	33.3	27.8	27.8	27.8	16.7	5.6	5.6	11.1	0.0	22.2
	男性/20～29歳(n=24)	25.0	25.0	20.8	12.5	12.5	29.2	20.8	12.5	8.3	29.2
	男性/30～39歳(n=43)	25.6	18.6	20.9	18.6	27.9	16.3	20.9	16.3	7.0	25.6
	男性/40～49歳(n=47)	34.0	38.3	25.5	17.0	31.9	25.5	14.9	6.4	2.1	19.1
	男性/50～59歳(n=56)	30.4	26.8	19.6	21.4	28.6	23.2	16.1	1.8	3.6	30.4
	男性/60～69歳(n=82)	25.6	24.4	22.0	14.6	18.3	18.3	12.2	6.1	4.9	25.6
	男性/70歳以上(n=123)	30.9	28.5	24.4	26.8	20.3	24.4	9.8	7.3	4.1	15.4
女性 年齢別	女性/19歳以下(n=13)	15.4	23.1	15.4	15.4	7.7	30.8	15.4	7.7	0.0	23.1
	女性/20～29歳(n=40)	37.5	27.5	37.5	15.0	15.0	7.5	12.5	10.0	0.0	22.5
	女性/30～39歳(n=57)	17.5	33.3	26.3	15.8	19.3	17.5	14.0	8.8	0.0	21.1
	女性/40～49歳(n=70)	47.1	28.6	21.4	17.1	24.3	25.7	10.0	8.6	4.3	15.7
	女性/50～59歳(n=82)	39.0	34.1	31.7	22.0	20.7	23.2	9.8	6.1	0.0	14.6
	女性/60～69歳(n=95)	51.6	29.5	36.8	27.4	23.2	23.2	12.6	9.5	0.0	9.5
	女性/70歳以上(n=175)	36.0	32.6	28.6	33.7	25.7	22.9	16.0	6.3	5.7	16.0
居住歴別	出身者(n=292)	35.3	27.4	25.7	22.9	24.7	20.9	12.7	6.5	2.4	18.2
	Uターン(n=264)	33.3	30.3	28.0	23.9	23.5	22.7	12.9	7.6	2.7	18.6
	転入者(n=336)	35.1	30.7	27.1	22.9	20.5	21.7	14.6	8.3	4.2	19.0

年齢別にみると、男性では上位の項目を「今の気持ちにあてはまる」として選択したのは40～49歳や男性19歳以下が多く、下位の項目は男性20～29歳や男性30～39歳に多い。逆に、「どれにも当てはまらない」と答えたのは男性50～59歳が最も多いなど、男性の高年齢層におけるシティブランド活動への期待は低い傾向にある。

一方、女性の場合、「まちの魅力を再認識できる」は女性60～69歳、「まちへの愛着が高まる期待がある」は女性50～59歳であるなど、幅広い年代においてシティブランド活動に対し期待されている。

居住歴別にみると、傾向においては大きな差はないが、「まちの魅力を再認識できる」と答えたのは出身者が、「まちへの愛着が高まる期待がある」と答えたのは転入者が、「市民として前向きな気持ちにさせてくれる」と答えたのはUターンが最も多く、居住歴によって期待する項目にわずかに差がみられる。